

生活機能分類普及推進検討ワーキンググループ 活動報告

向野 雅彦

藤田医科大学医学部

リハビリテーション医学I講座

生活機能分類普及推進検討ワーキンググループ 座長

生活機能分類普及推進検討ワーキンググループの取り組み

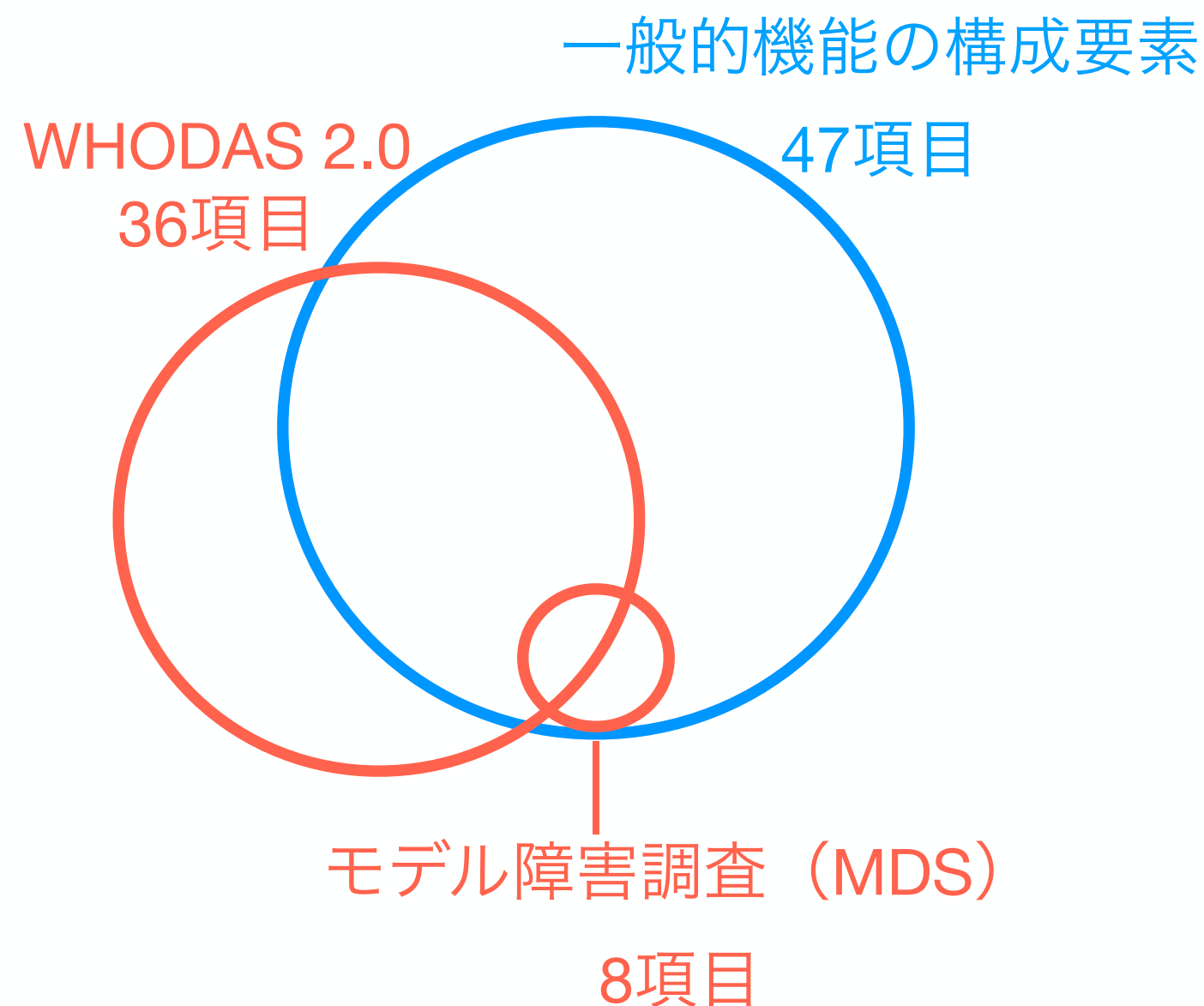
ICD-11第V章国内適用のための実用的な評価ツール作成：April 2019~March 2021



ICD-11において、生活機能評価に関する補助セクション（第V章）が新設



ICD-11第V章の構成



1. WHOが公表するICF関係資料の翻訳案作成

1-1) ICD-11第V章の仮訳案の作成

1-2) ICF2020の仮訳案の作成

(2019-2021の期間、集中的に行われたアップデートへの協力
および改訂版の翻訳対応)

2. ICD-11第V章の具体的な活用案作成

2-1) ICD-11第V章の全項目の評価ツールの作成

WHODAS2.0 & MDS：質問紙に基づく項目

- ICD-11のウェブサイト上で公開されている、項目に紐づいた質問文の翻訳

一般的機能の構成要素：ICFの分類に基づく項目

- 各分類項目の内容についての簡潔で直感的な説明文*の作成
- 各分類項目採点のための採点リファレンスガイド作成

2-2) 国内でのフィールドテストに必要な教育資料及びツールの作成

2-3) フィールドテストの実施

2-4) ICFリコードルール（既存の評価スケールとの項目対応ルール）の提案

ICD-11第V章全項目に
実用的な評価ツールを準備

*簡潔で直感的な説明文...

ICFの各分類項目の定義を直感的でわかりやすくするために、臨床家のコンセンサスミーティングで作成された説明文

WHOが公表するICF関係資料の翻訳案作成

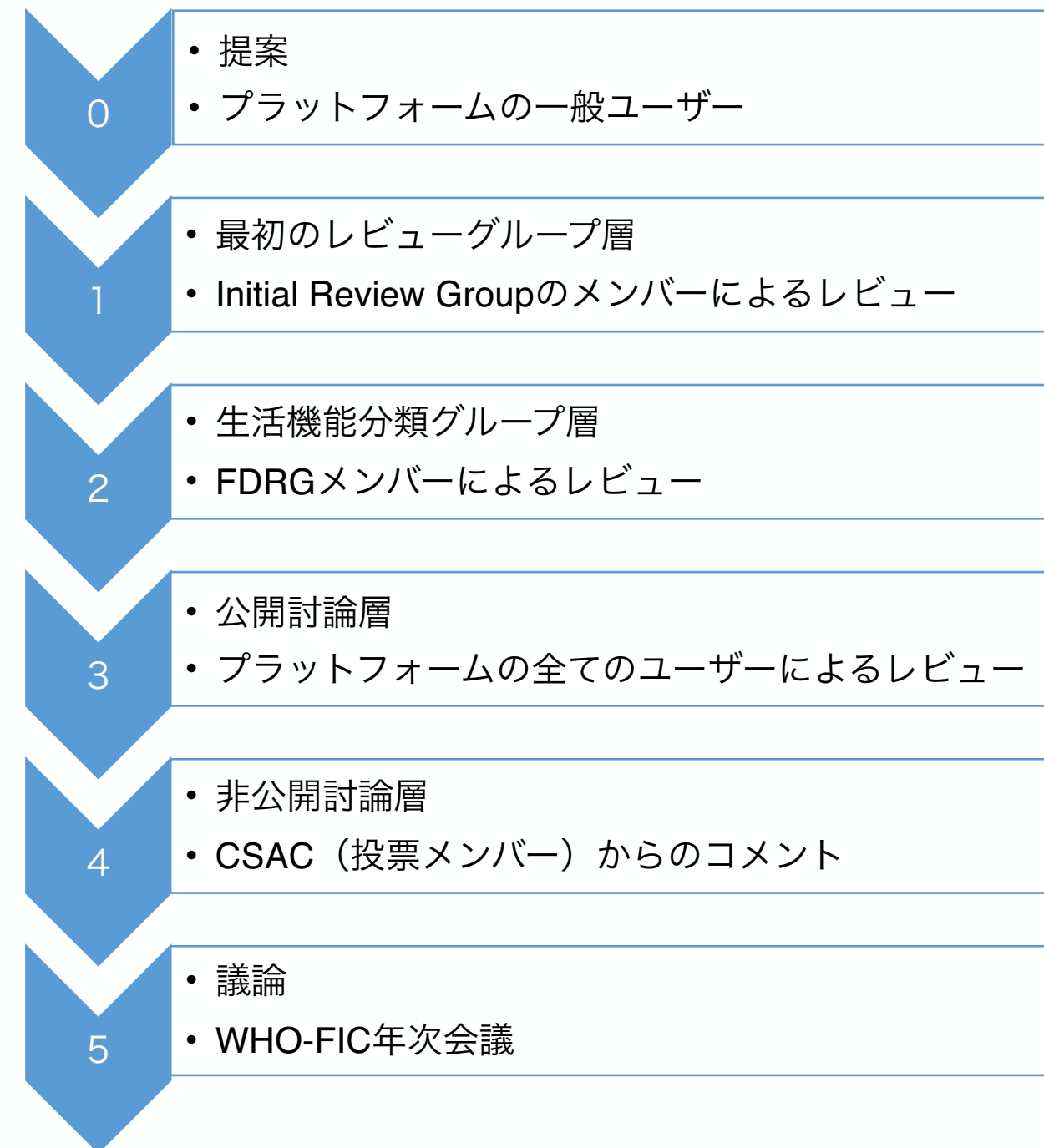
ICD-11第V章 仮訳案作成

ICF update 対応

ICF2020仮訳案作成

ICD-11 V章の和訳（案）

原文用語名	当訳案	WG案
VSupplementary section for functioning assessment WHODAS 2.0 36-item version	生活機能評価のための補助セクション WHO-DAS 2.0 (36項目版)	生活機能評価のための補助セクション WHO-DAS 2.0 (36項目版)
Cognition	認知	認知
VA00Attention functions	注意機能	注意機能
VA01Memory functions	記憶機能	記憶機能
VA02Solving problems	問題解決	問題解決
VA03Basic learning	基礎的学習	基礎的学習
VA04Communicating with - receiving - spoken messages	話言葉の理解	話言葉の理解
VA05Conversation	会話	会話
VA06Other specified cognition		
VA07Cognition, unspecified		
Mobility	運動・移動	運動・移動
VA10Maintaining a standing position	立位の保持	立位の保持
VA11Changing body position - standing	姿勢の交換 - 立つこと	姿勢の交換 - 立つこと
VA12Moving around within the home	自宅内の移動	自宅内の移動
VA13Moving around outside the home and other building	屋外の移動	屋外の移動
VA14Walking	歩行	歩行
VA15Other specified mobility		
VA16Mobility, unspecified		
Self-care WHODAS	セルフケア (WHODAS)	セルフケア (WHODAS)
VA20Washing oneself	自分の身体を洗うこと	自分の身体を洗うこと
VA21Dressing	更衣	更衣
VA22Eating	食べること	食べること
VA23Carrying out daily routine	日課の遂行	日課の遂行
VA24Other specified self-care WHODAS		
VA25Self-care WHODAS, unspecified		
Getting along	他者との交流	他者との交流
VA30Relating with strangers	よく知らない人との関係	よく知らない人との関係
VA31Informal relationship with friends - maintaining	友人との非公式な関係 - 維持	友人との非公式な関係 - 維持
VA32Family relationships	家族関係	家族関係
VA33Informal relationship with friends - making new friends	友人との非公式な関係 - 新しい友人を作る	友人との非公式な関係 - 新しい友人を作る
VA34Intimate relationships	親密な関係	親密な関係
VA35Other specified getting along		
VA36Getting along, unspecified		
Life activities	日常生活	日常生活
VA40Taking care of household responsibilities	家庭で要求される作業を行う	家事を受け持つ
VA41Doing most important household tasks	最も大切な家事を行う	最も重要な家事を行う
VA42Doing housework	調理以外の家事	調理以外の家事
VA42.0Getting all needed housework done	全ての家事労働を片付ける	全ての必要な家事を片付ける
VA42.1Getting household work done quickly	できるだけ早く家事労働を終わらせる	家事を手早く片付ける
VA42.2Other specified doing housework		
VA42.3Doing housework, unspecified		
VA43Remunerative employment	報酬を得る仕事	報酬を得る仕事
VA43.0Difficulties in daily work or school	毎日の仕事又は学校での困難さ	日々の仕事又は学校での困難さ
VA43.1Doing most important work or school task	最も大切な仕事又は学校の課題を済ます	最も重要な仕事又は学校の課題を行う
VA43.2Getting all needed work or school work done	必要な全ての仕事又は学校の課題を済ます	全ての必要な仕事又は学校の課題を済ます
VA43.3Getting remunerative work or school work done quickly	必要に応じてできるだけ早く報酬のある仕事又は学校の課題を済ます	報酬を得る仕事又は学校の課題を手早く片付ける
VA43.4Other specified remunerative employment		
VA43.5Remunerative employment, unspecified		
VA44Other specified life activities		
VA45Life activities, unspecified		
Participation and impact of health problems	社会参加及び健康問題の影響	参加及び健康問題の影響
VA50Recreation and leisure	レクリエーションとレジャー	レクリエーションとレジャー
VA51Problems by barriers	バリアによる問題	バリアによって生じた問題
VA52Human rights	人権	人権
VA53Time spent on health condition	健康問題に時間を費やす	健康問題に費やした時間
VA54Emotional effect of health condition	健康状態による感情的影響	健康状態の感情的な影響
VA55Health drain on financial resources	経済資源の健康状態による損失	健康状態に起因する経済的損失
VA56Health problems causing family problems	家族の問題を引き起こす健康問題	家族の問題を引き起こす健康問題
VA57Problems in relaxation or leisure	リラクゼーションやレジャーにおける問題	リラクゼーションやレジャーにおける問題
VA58Other specified participation and impact of health problems		
VA59Participation and impact of health problems, unspecified		
VA70Other specified WHODAS 2.0 36-item version		
VA71WHODAS 2.0 36-item version, unspecified		
Brief Model Disability Survey	簡易版モデル障害調査	簡易版モデル障害調査
VA80Seeing and related functions	視覚および関連機能	視覚及び関連機能
VA81Hearing and vestibular functions	聴覚及び前庭の機能	聴覚及び前庭の機能
Mental functions	精神機能	精神機能
VA90Energy and drive functions	活動性及び意欲の機能	活動性及び意欲の機能



分類・統計諮問委員会（CSAC-ICF）におけるICF改訂の議論への参加

Release of ICF 2020: October 2020

ICF 2020 closes the 13 years of life of ICF-CY and opens a new era with ICF being on the WHO Platform for Classifications together with ICD-11 and ICHI

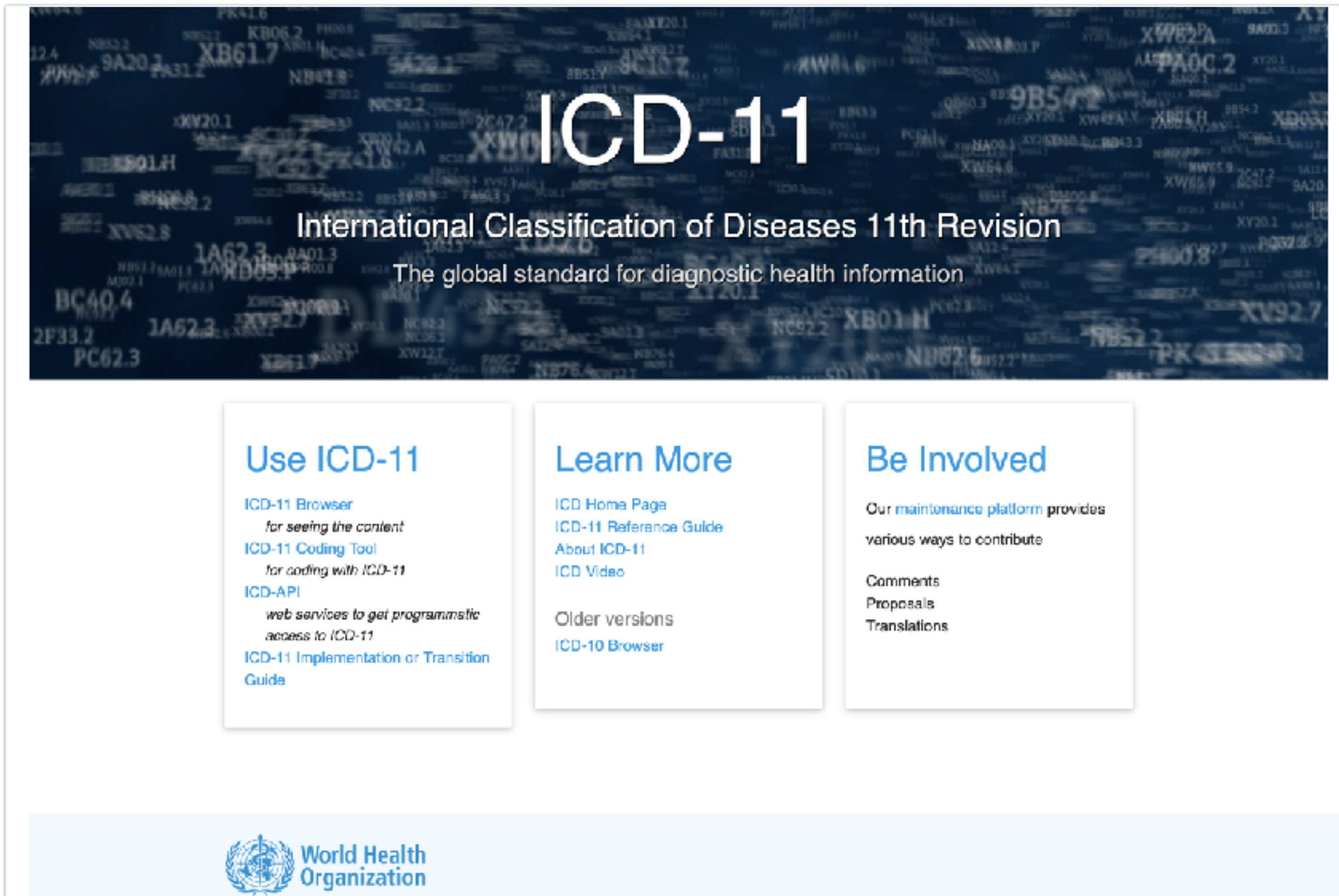


ICF2020に向けた改訂版の訳出

ICD-11第V章の具体的な活用案の作成

ICD-11 国際疾病分類 第11回改訂版

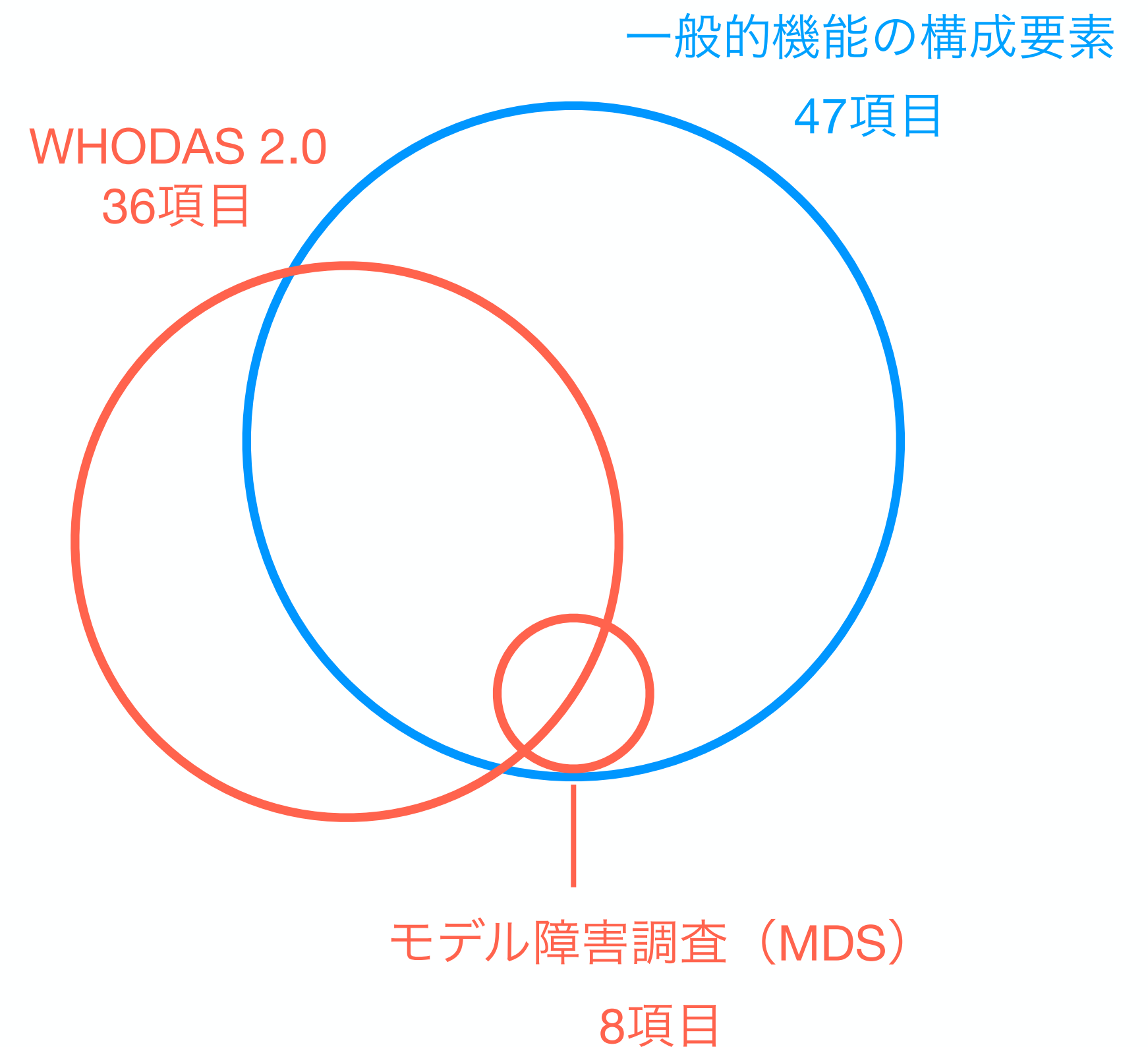
- 2018年6月に世界保健機関（WHO）により公表された、国際疾病分類の最新版 (30年ぶりの改訂)



ICD-11第V章 (別添2)

生活機能評価に関する補助セクション

ICD-11第V章の構成

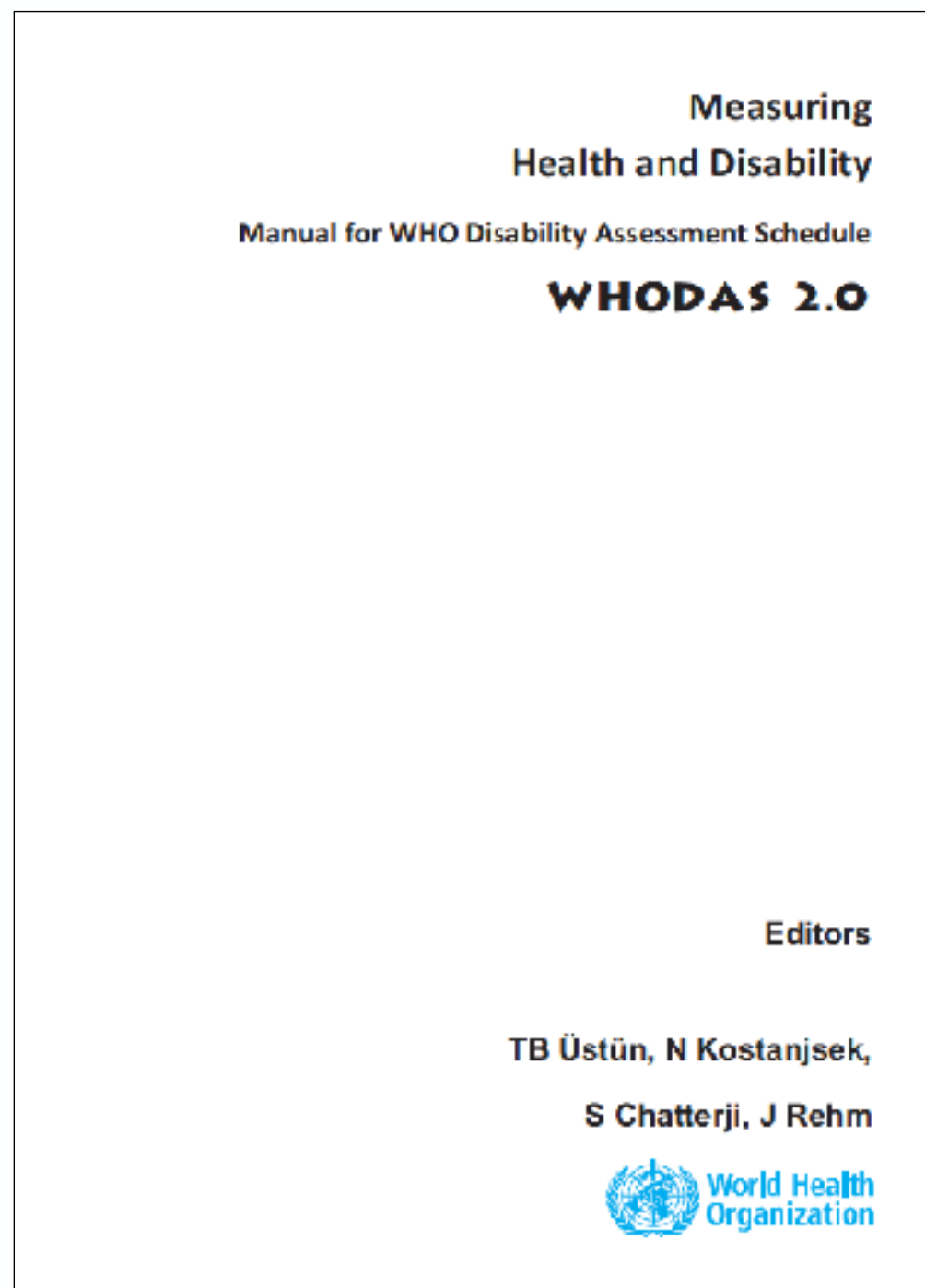


WHODAS 2.0

WHO障害評価面接基準

(WHO Disability Assessment Schedule)

- WHOにより開発された、健康と障害を測定する標準化スケール
- 面接版、自己記入版、代理人記入版がある
- 12項目版、36項目版がある



MDS

モデル障害調査

(Model disability survey)

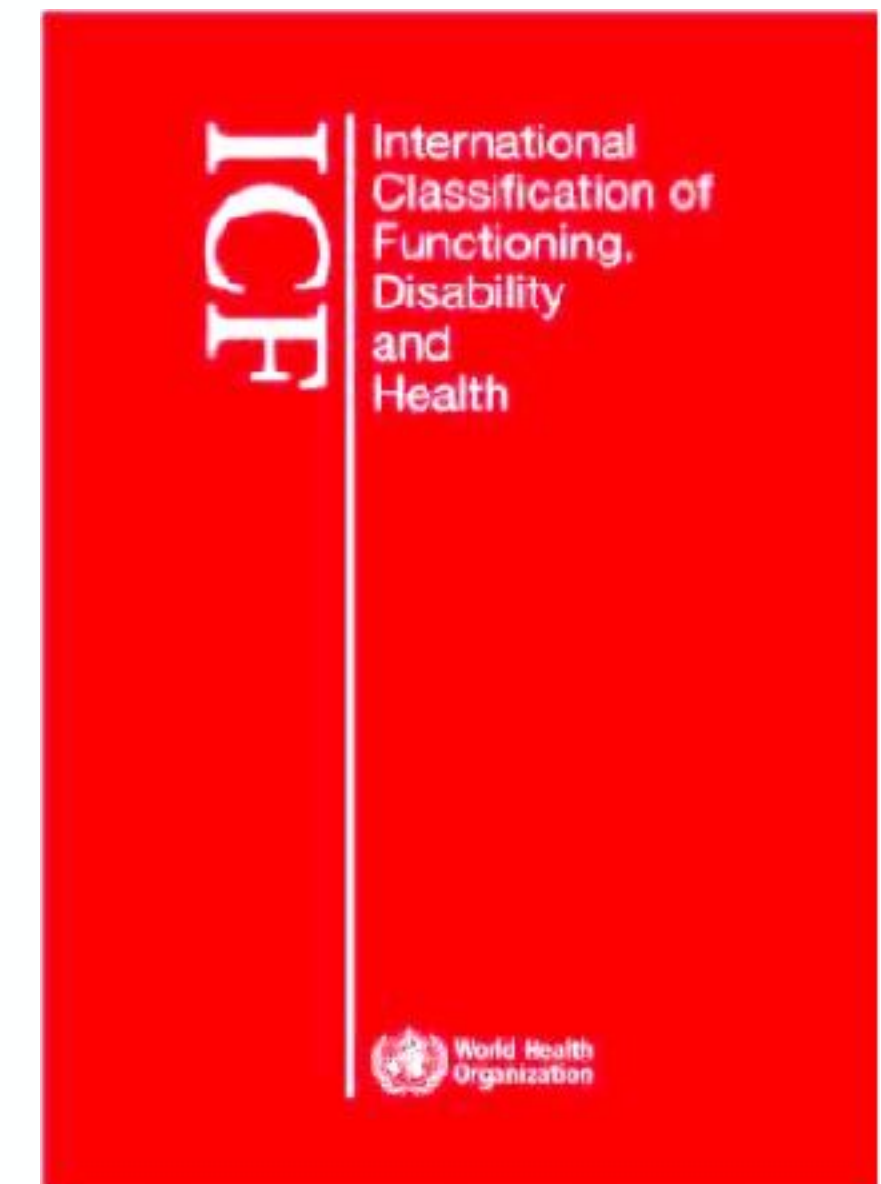
- WHOと世界銀行により開発された、障害データ収集のための質問紙
- 200項目以上の質問から構成されるが、40項目からなる短縮版も用意されている

Question	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Module 3000: ENVIRONMENTAL FACTORS										
30001 Do the stairs, banks and foot paths in your neighborhood make it easy or hard for you to use them?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
30002 Does the transportation you need or want to use make it easy or hard for you to use it?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
30003 Does your dwelling, including the toilet, make it easy or hard for you to live there?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
30004 Should you need help, how easy is it for you to get help from a close family member (including your partner)?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
30005 Should you need help, how easy is it for you to get help from friends and co-workers?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
30006 Should you need help, how easy is it for you to get help from neighbors?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
30007 Do you make your own choices about your day-to-day life? For example, where to go, what to do, what to eat.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
30008 Do you feel that other people respect you? For example, do you feel that others value you as a person and listen to what you have to say?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Module 4000: FUNCTIONING										
40001 How much of a problem is waiting a reminder for you?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
40002 How much of a problem is getting where you want to go for you?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
40003 How much of a problem is being clean and dressed?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
40004 How much of a problem is eating?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
40005 How much of a problem is looking after your health, eating well, exercising or taking your medicine?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
40006 How much of a problem is looking tired and not having enough energy?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
40007 How much of a problem is coping with all the things you have to do?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
40008 How much of a problem is remembering to do the important things in your day-to-day life?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
40009 How much of a problem do you have with getting your household tasks done?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
40010 How much of a problem do you have with joining community activities, such as festivals, religious or other activities?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
40011 How much of a problem is using public or private transportation?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
40012 How much of a problem is getting things done as required at work or school?	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

一般的機能の構成要素

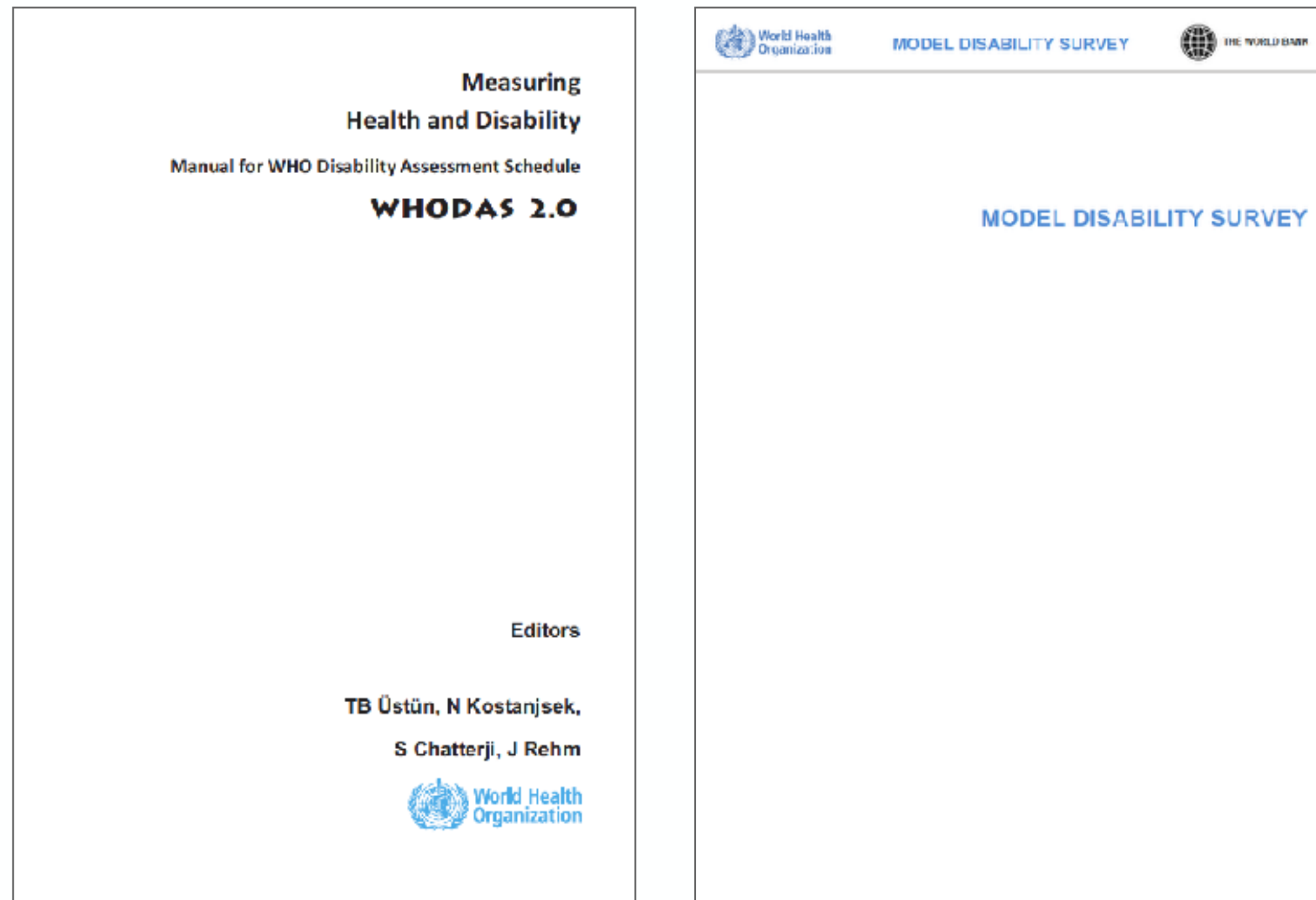
(Generic functioning domains)

- ICFの主要な領域をカバーするように採用された項目群
- ICFの付録9”理想的および最低限の健康情報システムまたは調査のために提案されたICFデータの要件”に基づく



評価ツールの作成

WHODAS2.0 と MDS : 質問紙に基づく



一般的機能の構成要素： ICFに基づく

ICFの評価点

0点	問題なし	(0-4%)
1点	軽度の問題	(5-24%)
2点	中等度の問題	(25-49%)
3点	重度の問題	(50-95%)
4点	完全な問題	(96-100%)
8点	詳細不明	
9点	非該当	

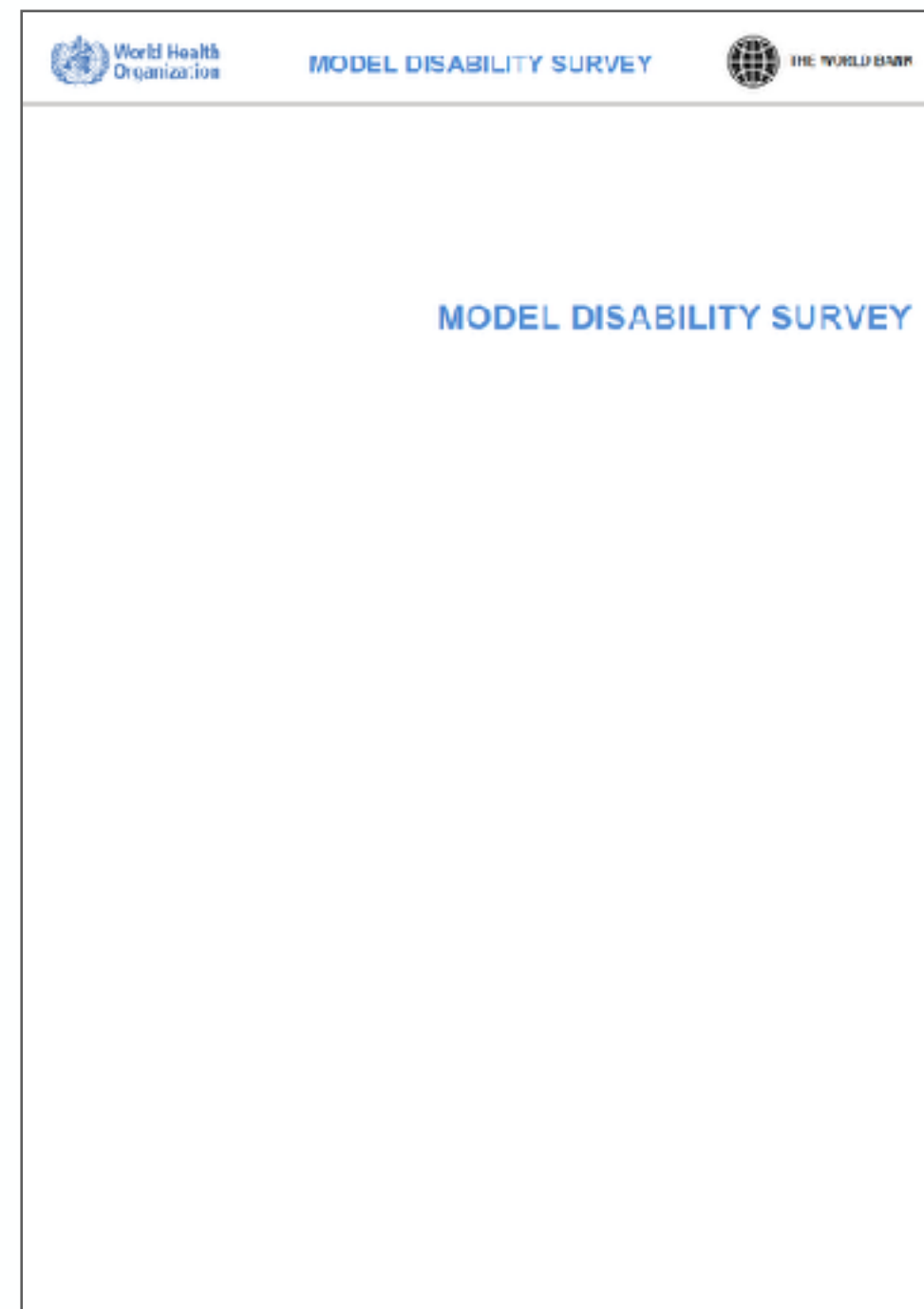
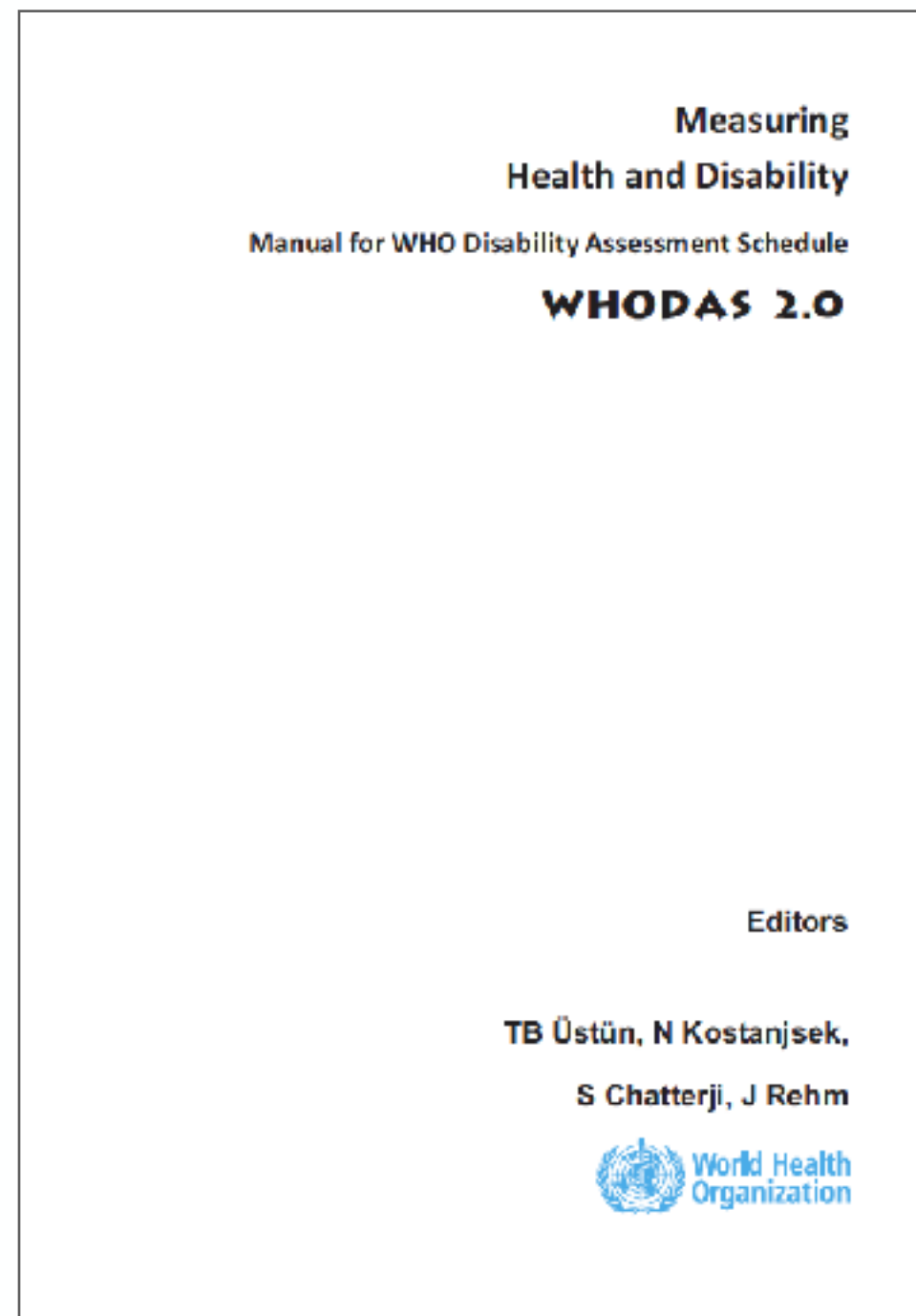


WHODAS2.0およびMDS関連項目の 質問文の和訳

項目		質問文
VA00	注意機能	過去30日間、自分の健康状態が原因で、10分間何かを行うことに集中することはどれくらい困難でしたか
VA01	記憶機能	過去30日間、自分の健康状態が原因で、重要なことをするのを忘れずに覚えていることはどれくらい困難でしたか
VA02	問題解決	過去30日間、自分の健康状態が原因で、日々の生活でみられる問題を分析し、解決策を見つけることはどれくらい困難でしたか
VA03	基礎的学習	過去30日間、自分の健康状態が原因で、新しい課題を学ぶこと（例えば初めて行く場所への行き方を学ぶこと）はどれくらい困難でしたか
VA04	話し言葉の理解	過去30日間、自分の健康状態が原因で、他の人が言っていることをおおむね理解することはどれくらい困難でしたか
VA05	会話	過去30日間、自分の健康状態が原因で、会話を始めたり続けたりすることはどれくらい困難でしたか
VA10	立位の保持	過去30日間、自分の健康状態が原因で、30分程度の長い時間立っていることはどれくらい困難でしたか
VA11	姿勢の変換-立つこと	過去30日間、自分の健康状態が原因で、腰掛けた状態から立ち上がることはどれくらい困難でしたか
VA12	自宅内の移動	過去30日間、自分の健康状態が原因で、家の中を移動することはどれくらい困難でしたか
VA13	屋外の移動	過去30日間、自分の健康状態が原因で、家の外に出ることはどれくらい困難でしたか
VA14	歩行	過去30日間、自分の健康状態が原因で、1キロメートル（もしくはそれに相当する距離）程度の長い距離歩くことはどれくらい困難でしたか
VA20	自分の身体を洗うこと	過去30日間、自分の健康状態が原因で、全身を洗うことはどれくらい困難でしたか
VA21	更衣	過去30日間、自分の健康状態が原因で、服を着ることはどれくらい困難でしたか
VA22	食べること	過去30日間、自分の健康状態が原因で、食べることはどれくらい困難でしたか
VA23	日課の遂行	過去30日間、自分の健康状態が原因で、2、3日一人で過ごすことはどれくらい困難でしたか

評価ツールの作成

WHODAS2.0 と MDS :
質問紙に基づく



一般的機能の構成要素：
ICFに基づく

ICFの評価点

0点	問題なし	(0-4%)
1点	軽度の問題	(5-24%)
2点	中等度の問題	(25-49%)
3点	重度の問題	(50-95%)
4点	完全な問題	(96-100%)
8点	詳細不明	
9点	非該当	

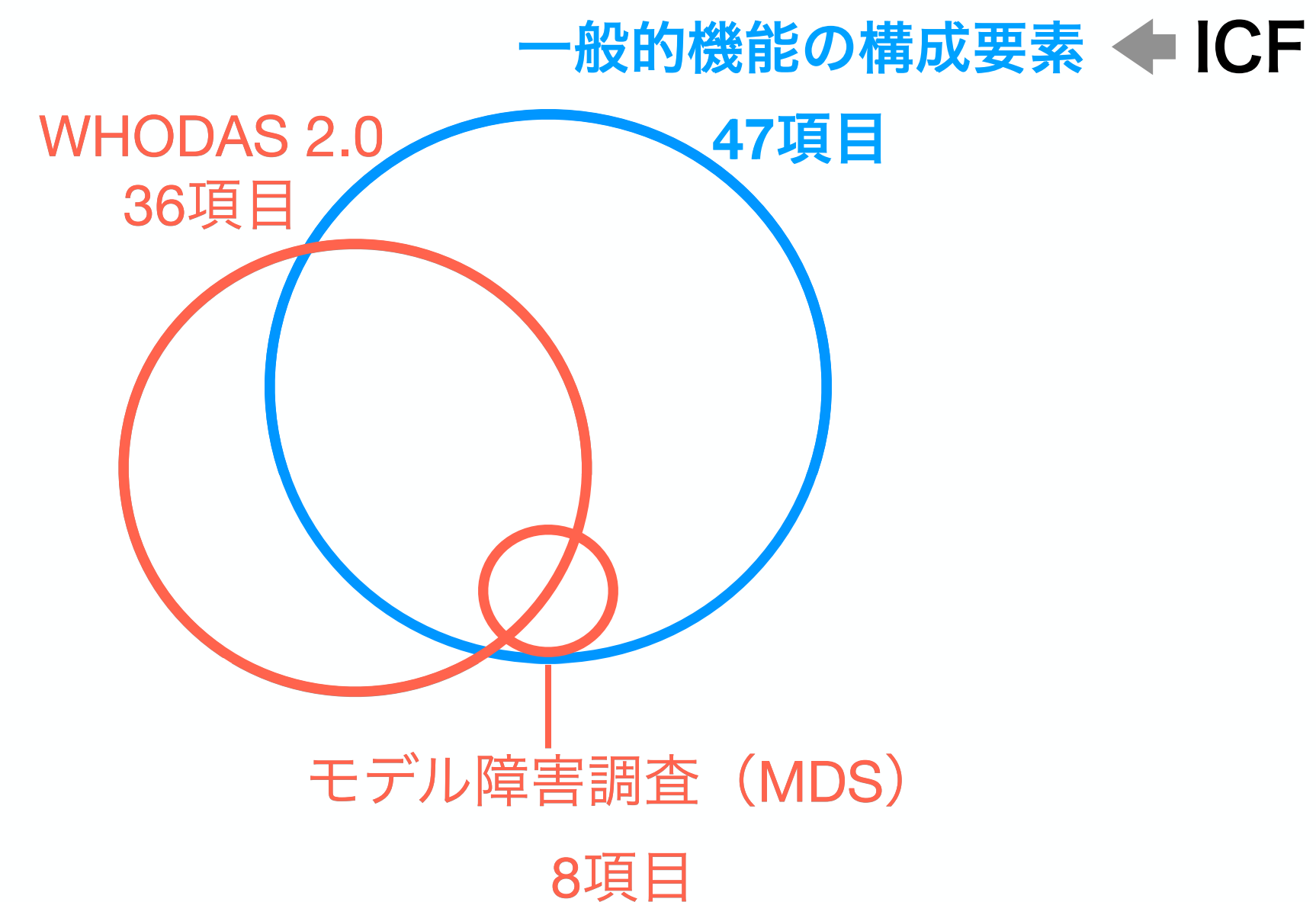


ICF/ICD-11第V章を用いた 評価におけるハードル

- 項目のタイトルや定義の分かりにくさ
- 評価点の基準の不足と、信頼性の低さ
- 既存のスケールの存在
- 教育環境の不足



ICD-11第V章の構成



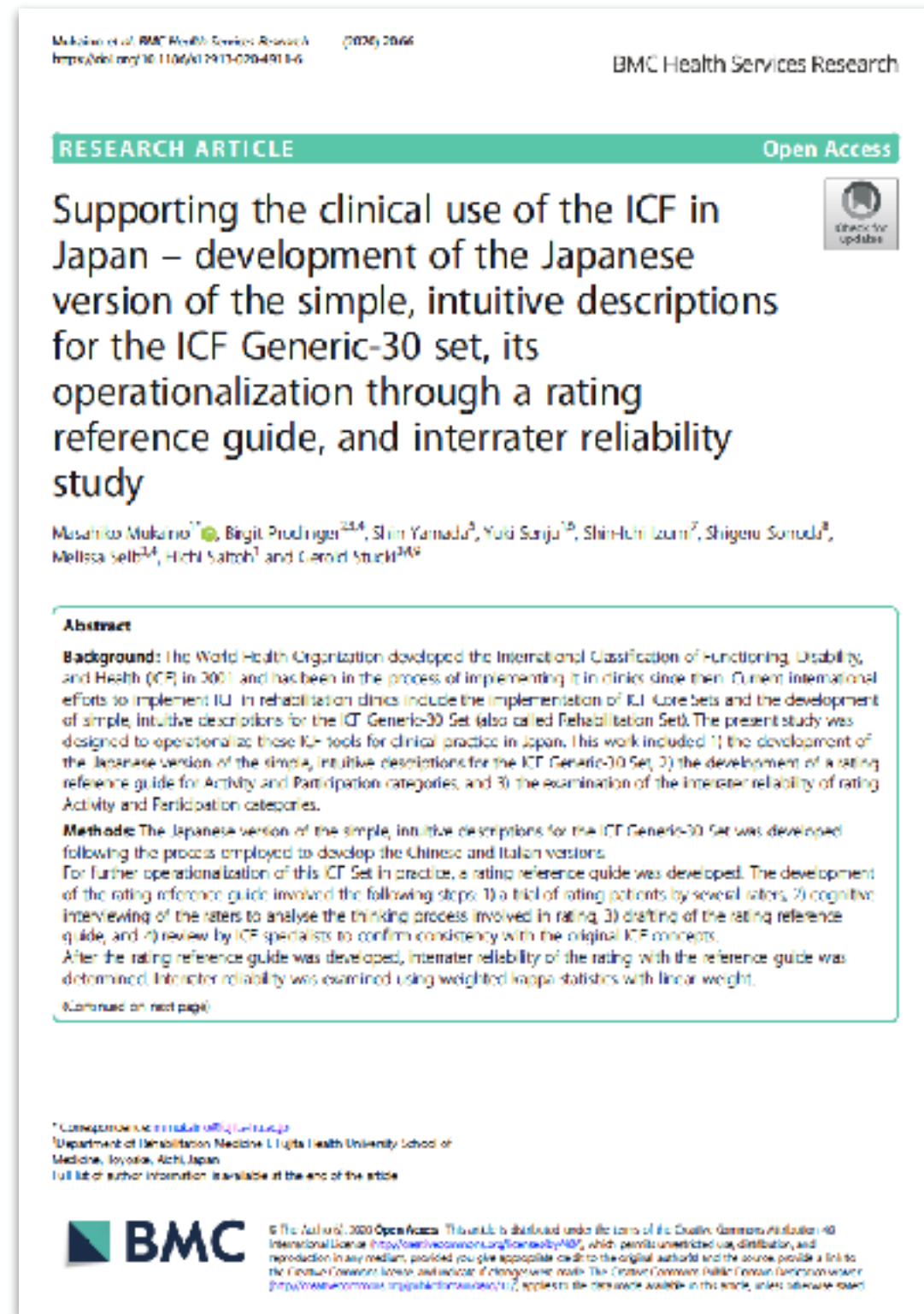
生活機能分類普及推進検討ワーキンググループにおける ICD-11第V章のための評価ツール作成の取り組み

- 項目のタイトルや定義の分かりにくさ
→ 簡潔で直感的な説明文の作成
- 評価点の基準の不足と、信頼性の低さ
→ 採点リファレンスガイドの作成と検証
- 既存のスケールの存在
→ 既存のスケールとの互換性の確保
- 教育環境の不足
→ 教育環境作成の準備

簡潔で直感的な説明文の作成

- 2016年11月2日にICF一般セット（30項目版）の説明文が作成されていた*

- 2020年1月8日にコンセンサスミーティングを実施
- ICD-11 第V章の”一般的機能の構成要素”のうち説明文が未作成の項目について新たな説明文を作成した**（全項目の説明文を別添4に提示）



ICD-11 Code	項目タイトル	簡潔で直感的な説明文
VA00	注意機能	日常に支障なく注意を集中する機能
VA01	記憶機能	記憶し、必要に応じて思い出す機能
VA02	問題解決	日常生活上の問題を解決する
VA03	基礎的学習	読み書きや計算、日常生活に必要な技能を学習し、習得する
VA04	話言葉の理解	日常における話言葉の意味を理解する
VA05	会話	状況に応じて会話をする
VA10	立位の保持	立位の姿勢を保持する
VA11	姿勢の変換 -立つこと	立ち上がること、立位から他の姿勢(座位、臥位等)になること
VA12	自宅内の移動	自宅内を歩行または移動する
VA30	よく知らない人との関係	物を買う、道を尋ねる等、必要に応じて、よく知らない人に対応する
VA52	人権	人としての権利を享受している
VA90	視覚および関連機能	日常に支障なく見る目の機能
VA91	聴覚と前庭の機能	日常に支障なく聞く機能/平衡に関する感覚
VB60	音声及び発話に関連する機能	日常に支障なく音声や言語を発する機能
VB80	消化器系に関連する機能	摂食、消化・吸収し、排便する機能
VB40.5	皮膚及び関連する構造の機能	皮膚の保護・修復に関する機能/毛や爪の機能
VC21	物の運搬、移動及び操作	手や足を使って物の移動や操作を行う
VC40	調理	調理を計画、準備、実行する

*平成28年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業「医療の質の評価指標としてのICF評価セット（日本版）およびデータ収集ツールの作成」
[研究代表者：才藤栄一] において作成

**令和元年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業
「医療・介護連携を促進するための国際生活機能分類を用いた評価と情報共有の仕組みの構築」
[研究代表者：向野雅彦] において作成

採点用リファレンスガイドの作成

- 平成30年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業「医療・介護連携を促進するための国際生活機能分類を用いた評価と情報共有の仕組みの構築」〔研究代表者：向野雅彦〕において、認知インタビューに基づく客観的プロセスによって、ICF一般セット（30項目版）の項目に対し、採点用リファレンスガイドが作成されていた
- 今回、ICD-11 第V章の”一般的機能の構成要素”のうち採点用リファレンスガイドが未作成の項目について、新たなリファレンスガイドを作成した*（別添5）

作成プロセス

多職種医療者
による採点（共通の患者）

認知インタビュー

採点者によるディスカッション

ICF専門家によるレビュー

リファレンスガイド作成

例

d850 報酬を伴う仕事

説明文：報酬を得て仕事をする

採点例

0 問題なし：問題なく自分でやっていることなど

1 軽度の問題：報酬を得て制限なく自分で仕事を行っているが、勤務時間や仕事量の配慮、支援機器や支援環境を要していることなど

2 中等度の問題：報酬を得て自分で仕事を行っているが、勤務内容の制限、他者のサポートを一部に要していることなど

3 重度の問題：報酬を得て自分で仕事を行っているが、勤務内容の制限、他者のサポートを大部分に要していることなど

4 完全な問題：報酬を得て仕事を行えていないことなど

* 令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金厚生労働科学特別研究事業「ICD-11に新たに導入された生活機能評価に関する補助セクション「V章」の活用及び普及に向けた研究〔研究代表者：向野雅彦〕において作成

検者間信頼性の検証 (別添6)

重み付けκ係数		重み付けκ係数		重み付けκ係				
b130	活力と欲動の機能	0.73	d230	日課の遂行	0.61	VA00	注意機能	0.79
b134	睡眠機能	0.69	d240	ストレスとその他の心理的要求への対処	0.70	VA01	記憶機能	0.82
b152	情動機能	0.61	d410	基本的な姿勢の変換	0.81	VA02	問題解決	0.83
b280	痛みの感覚	0.64	d415	姿勢の保持	0.79	VA03	基礎的学習	0.75
b455	運動耐容能	0.61	d420	移乗	0.79	VA04	話し言葉の理解	0.80
b620	排尿機能	0.88	d450	歩行	0.74	VA05	会話	0.75
b640	性機能	0.54	d455	移動	0.82	VA10	立位の保持	0.78
b710	関節の可動性の機能	0.78	d465	用具を用いての移動	0.73	VA11	姿勢の変換- 立つこと	0.81
b730	筋力の機能	0.75	d470	交通機関や手段の利用	0.72	VA12	自宅内の移動	0.78
			d510	自分の体を洗うこと	0.67	VA30	よく知らない人との関係	0.83
			d520	身体各部の手入れ	0.75	VA52	人権	0.84
			d530	排泄	0.72	VA90	視覚および関連機能	0.71
			d540	更衣	0.78	VA91	聴覚と前庭の機能	0.75
			d550	食えること	0.76		聴覚	0.75
			d570	健康に注意すること	0.85		前庭覚	0.82
			d640	調理以外の家事	0.63	VB60	音声と発話に関する機能	0.87
			d660	他者への援助	0.73	VB80	消化器系に関連する機能	0.81
			d710	基本的な対人関係	0.84		嚥下	0.81
			d770	親密な関係	0.66		消化吸収	0.85
			d850	報酬を伴う仕事	0.68	VB40.5	皮膚および関連する構造の機能	0.66
			d920	レクリエーションとレジャー	0.77	VC21	物の運搬・移動・操作	0.65
						VC40	調理	0.71

	Landis and Koch, 1977
Excellent	>0.81
Substantial	0.8-0.61
Moderate	0.6-0.41
Fair	0.4-0.21
Poor	0.2>

教育資料およびツールの作成

ICF/ICD-11第V章の基礎知識の教育資料（別添7）

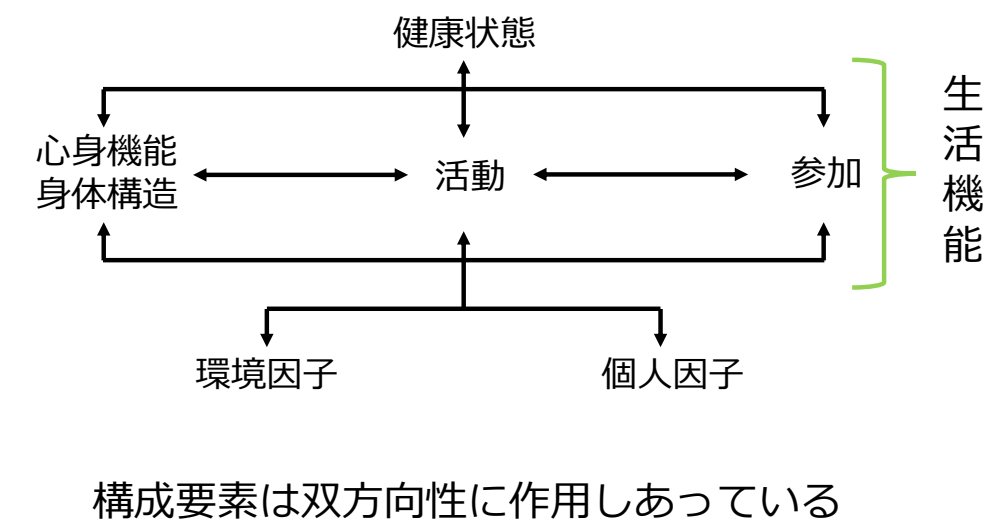
国際生活機能分類とは

国際生活機能分類:

International Classification of Functioning, Disability and Health (ICF)

- 2001年5月、世界保健機関（WHO）総会において採択。
- 人間の生活機能と障害を、アルファベットと数字を組み合わせたコードで分類（全部で1,600以上の項目がある）。
- 世界共通の尺度を用いることで医療保健統計に役立つ。
- 生活機能とは「人が生きること」全体であり、健康とは「生活機能」全体が高い水準にあることを示す。

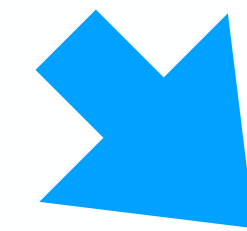
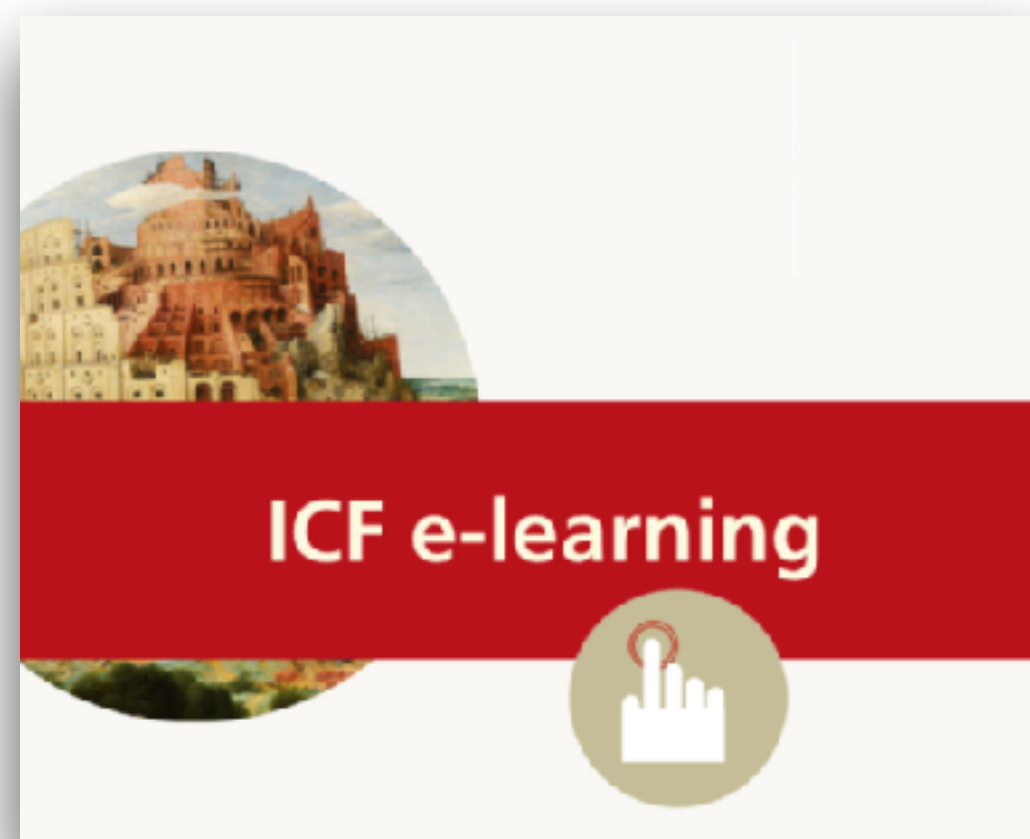
生活機能と障害と健康の生物・心理・社会的統合モデル



採点用アプリケーション（別添8）



ICF e-learning tool 翻訳準備



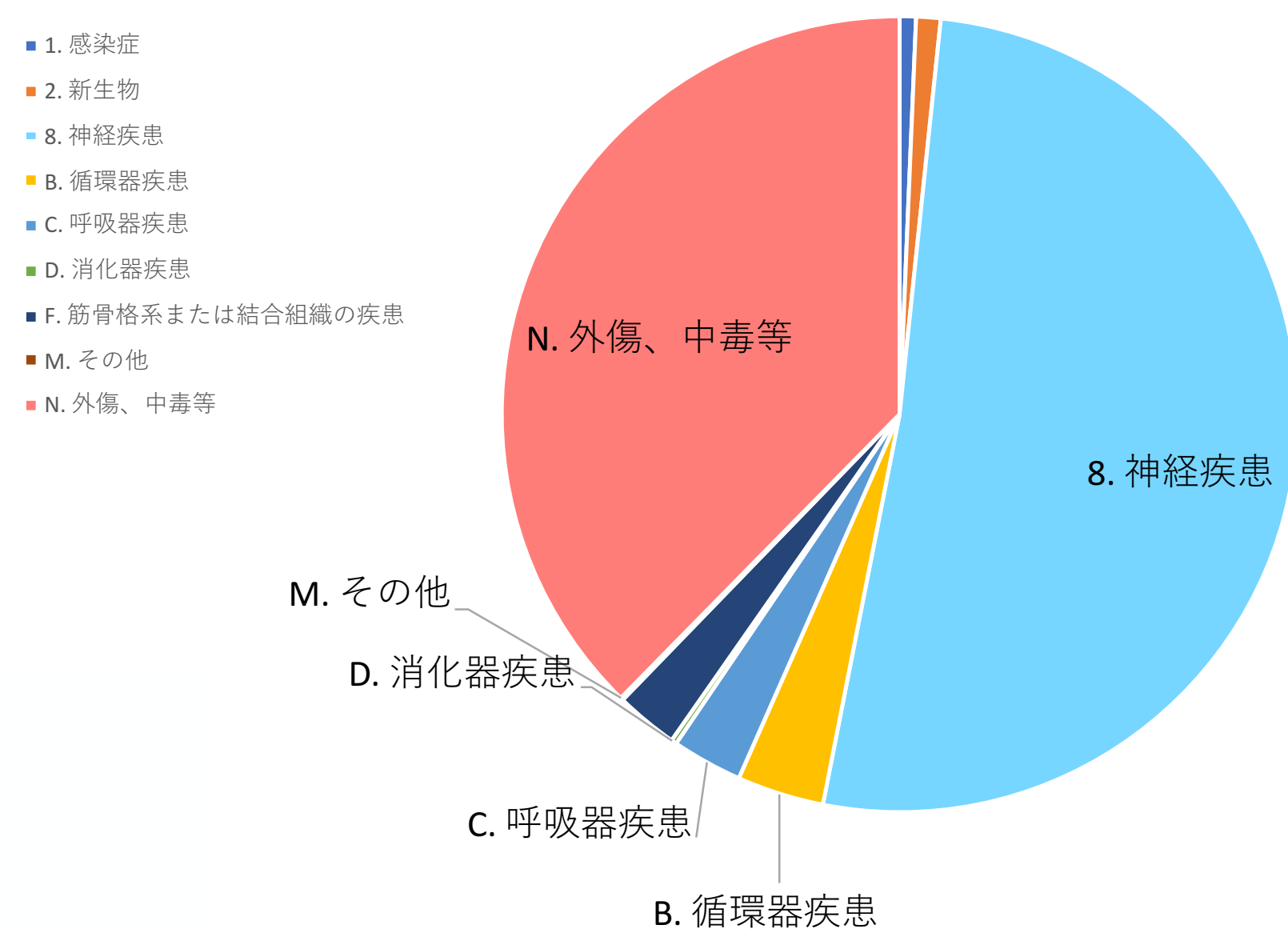
実際の評価点の使用に役立つ教育資料作成に向けた今後の取り組みが重要

協力：日本診療情報管理学会

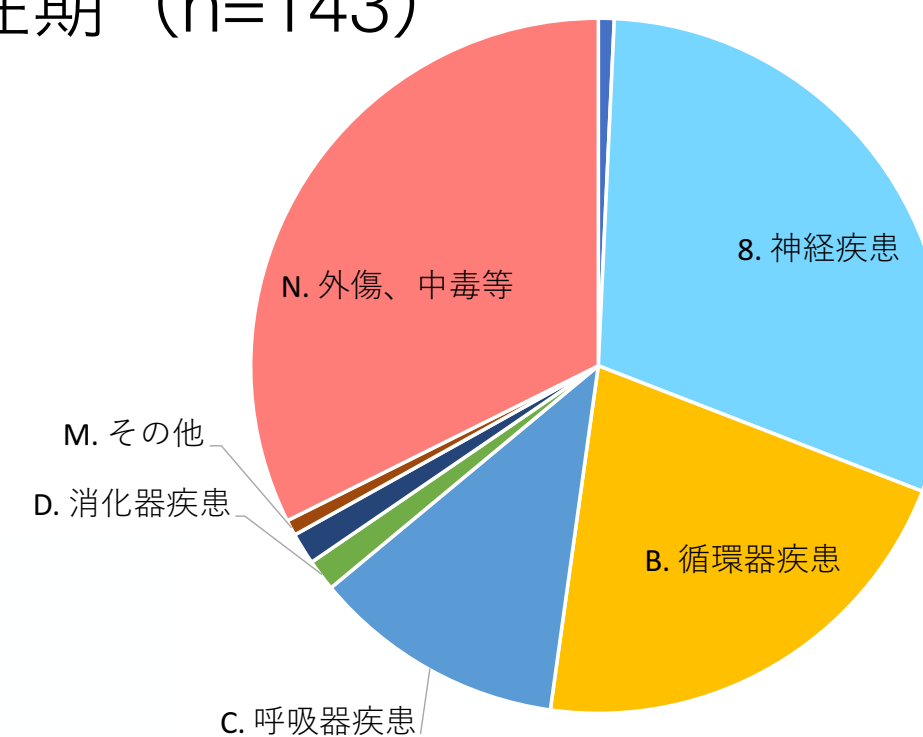
ICD-11第V章実用のためのフィールドテスト*

対象：急性期および回復期におけるリハビリテーション実施中の入院患者
20病院 927名

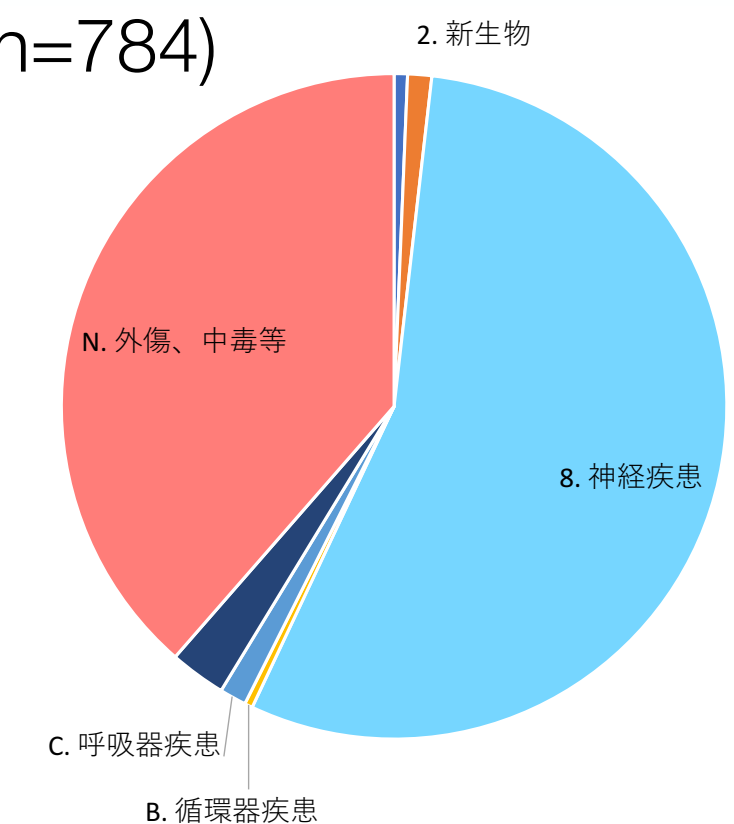
評価実施内容：- 採点リファレンスガイドおよび質問紙を用いた
ICD-11 第V章の評価
- Functional Independence Measure (FIM)



急性期 (n=143)



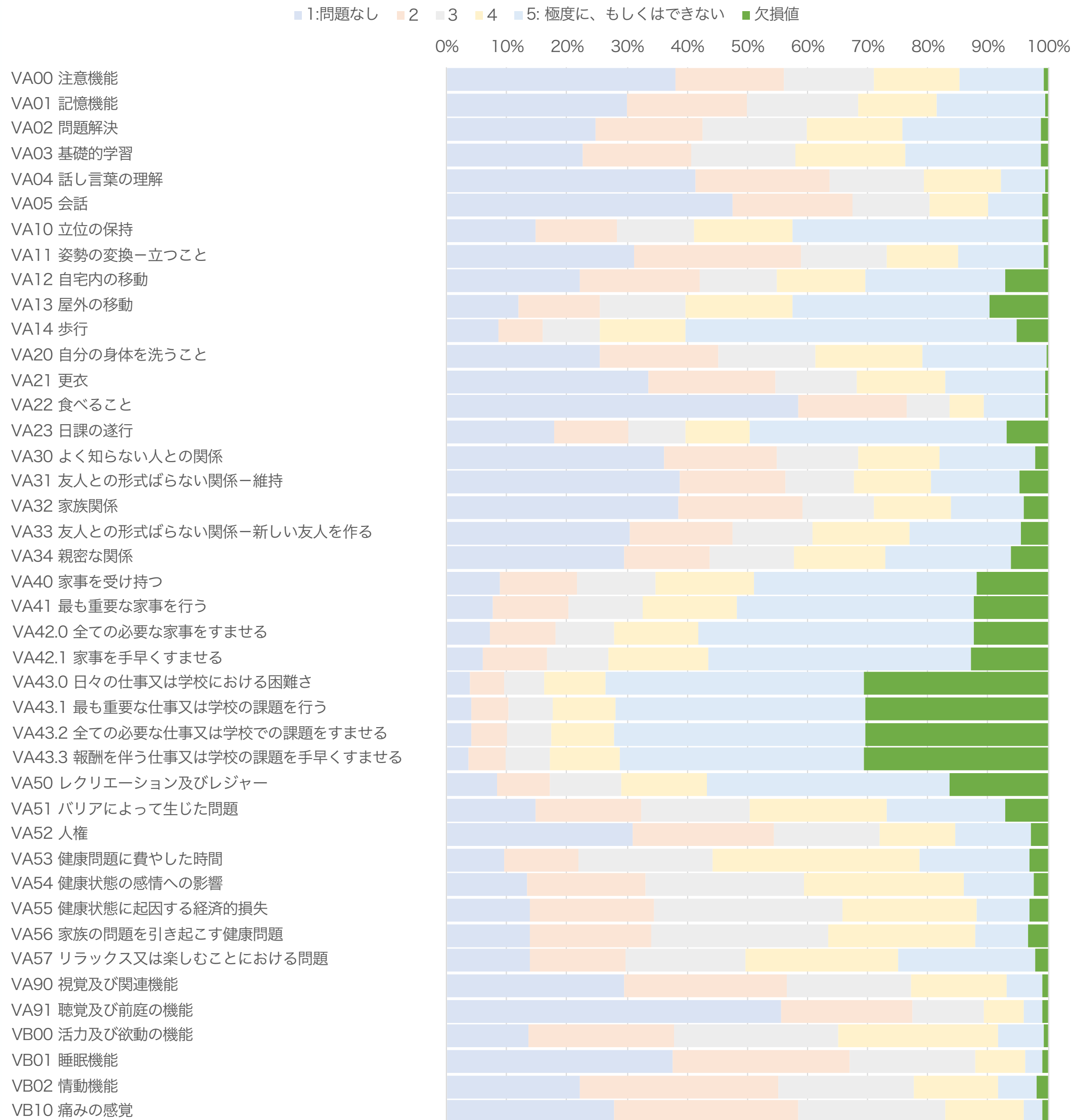
回復期 (n=784)



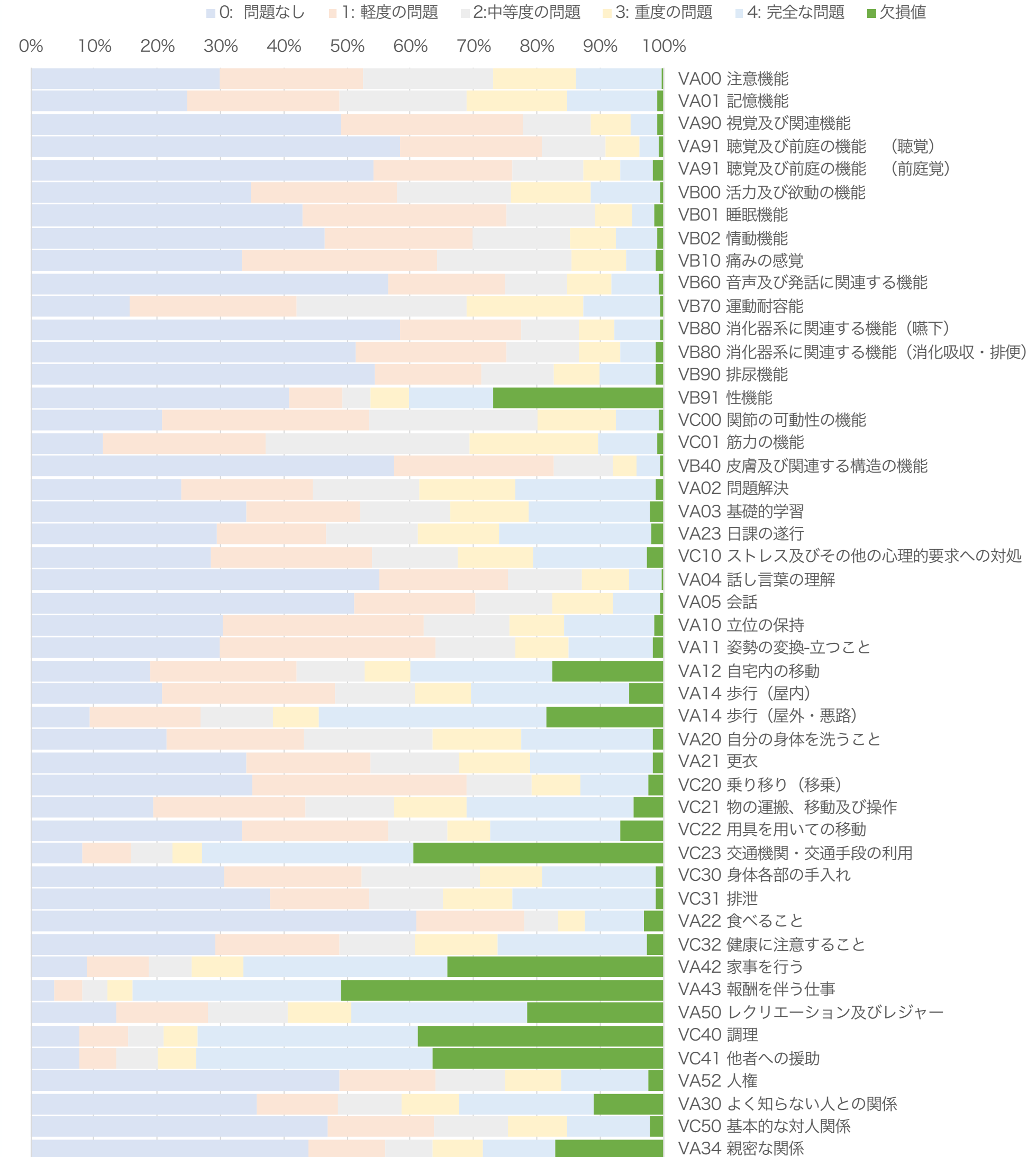
*令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金厚生労働科学特別研究事業「ICD-11に新たに導入された生活機能評価に関する補助セクション「V章」の活用及び普及に向けた研究 [研究代表者：向野雅彦] において実施

入院患者の生活機能プロフィール (別添9)

WHODAS2.0+MDS

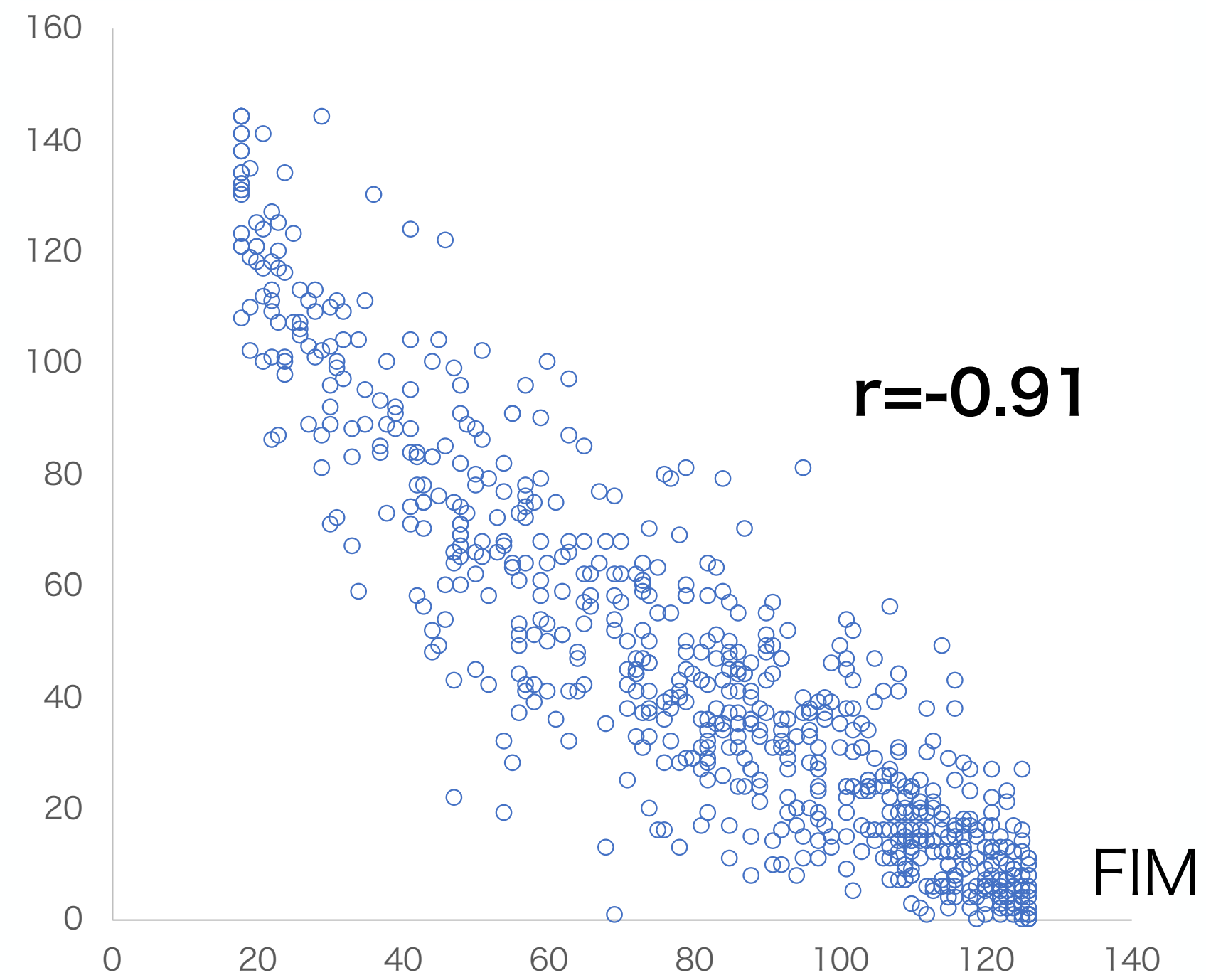


一般的機能の構成要素

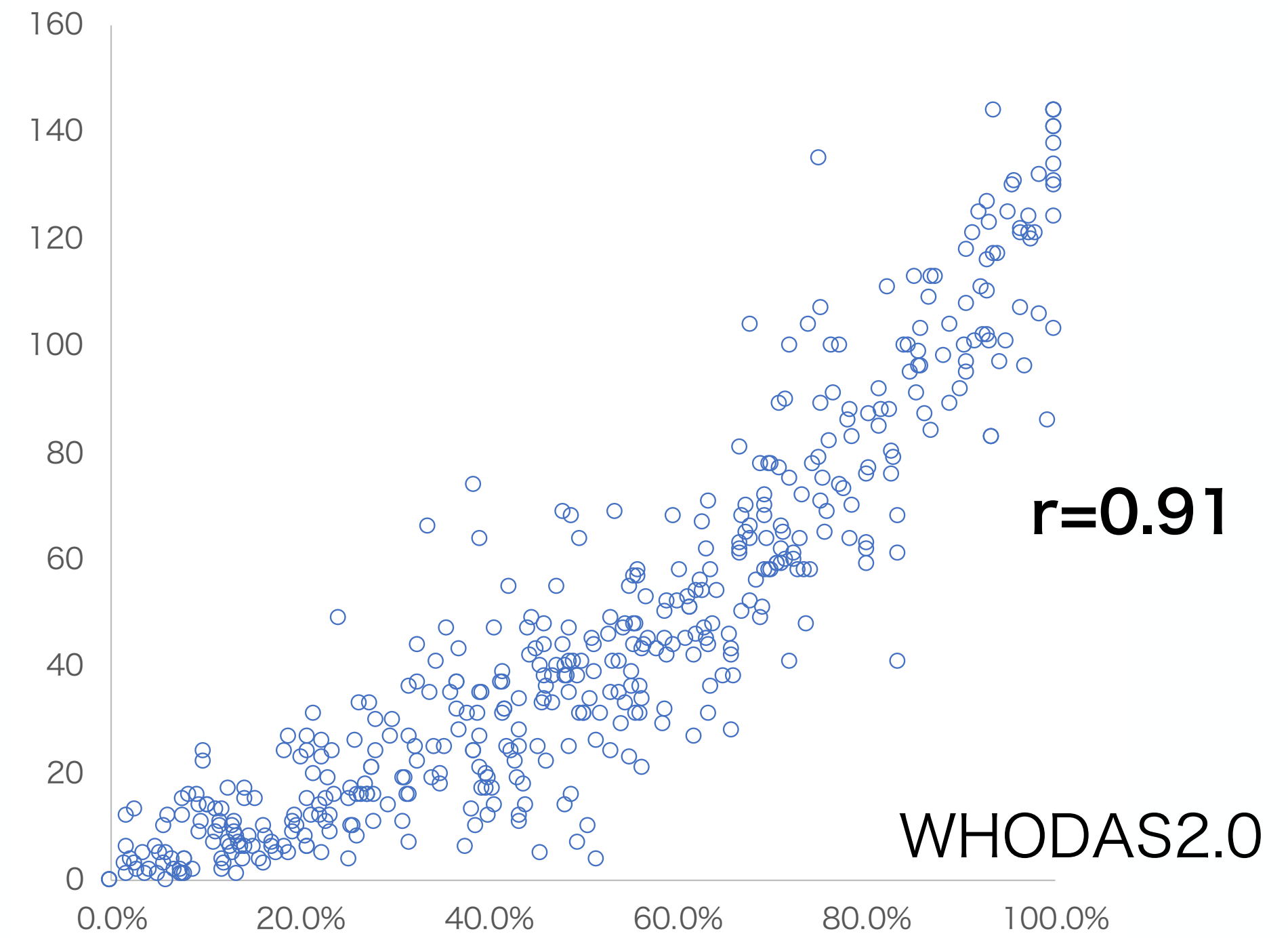


生活機能の評価表としての妥当性 (別添10)

一般的機能の構成要素

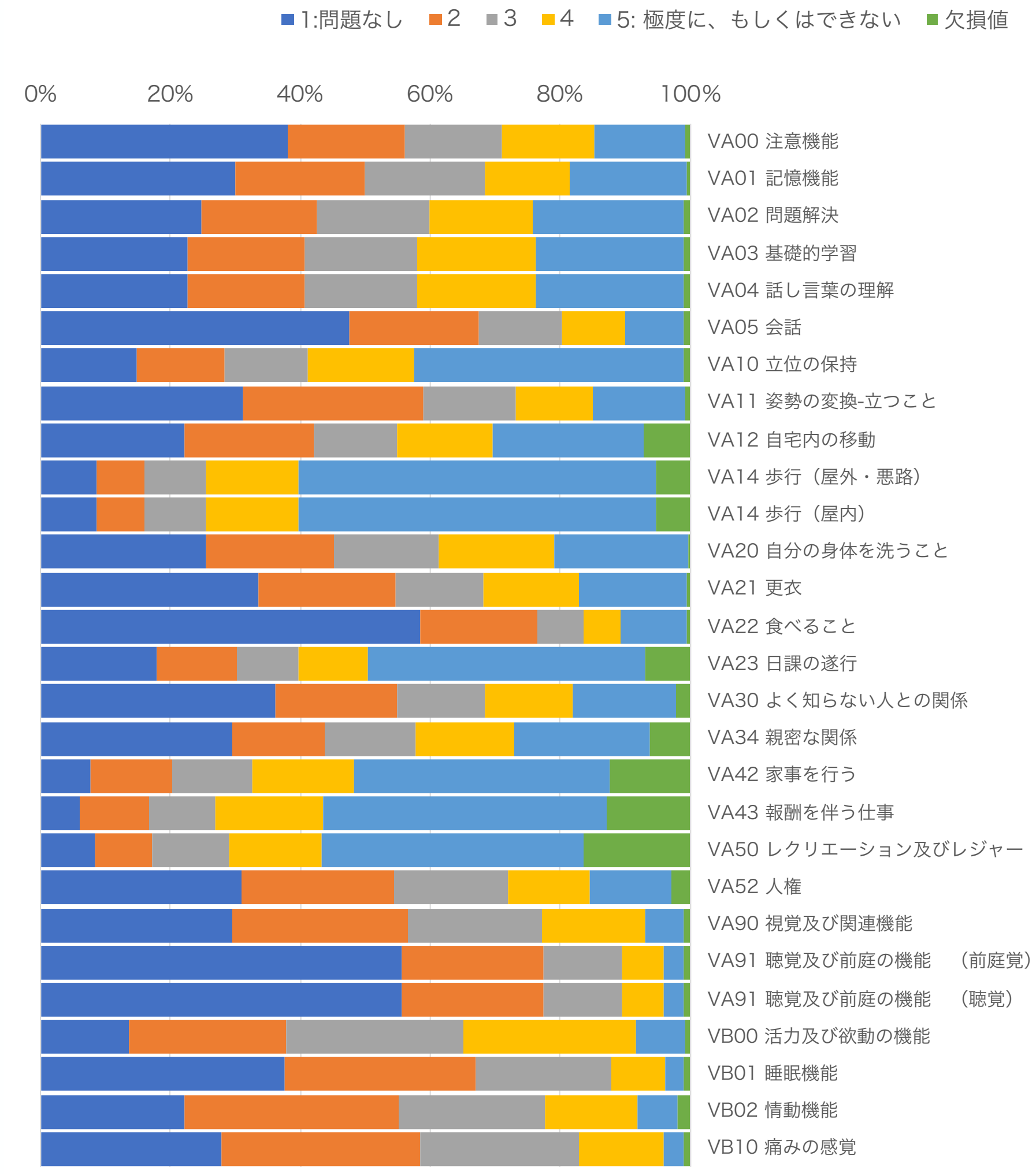


一般的機能の構成要素

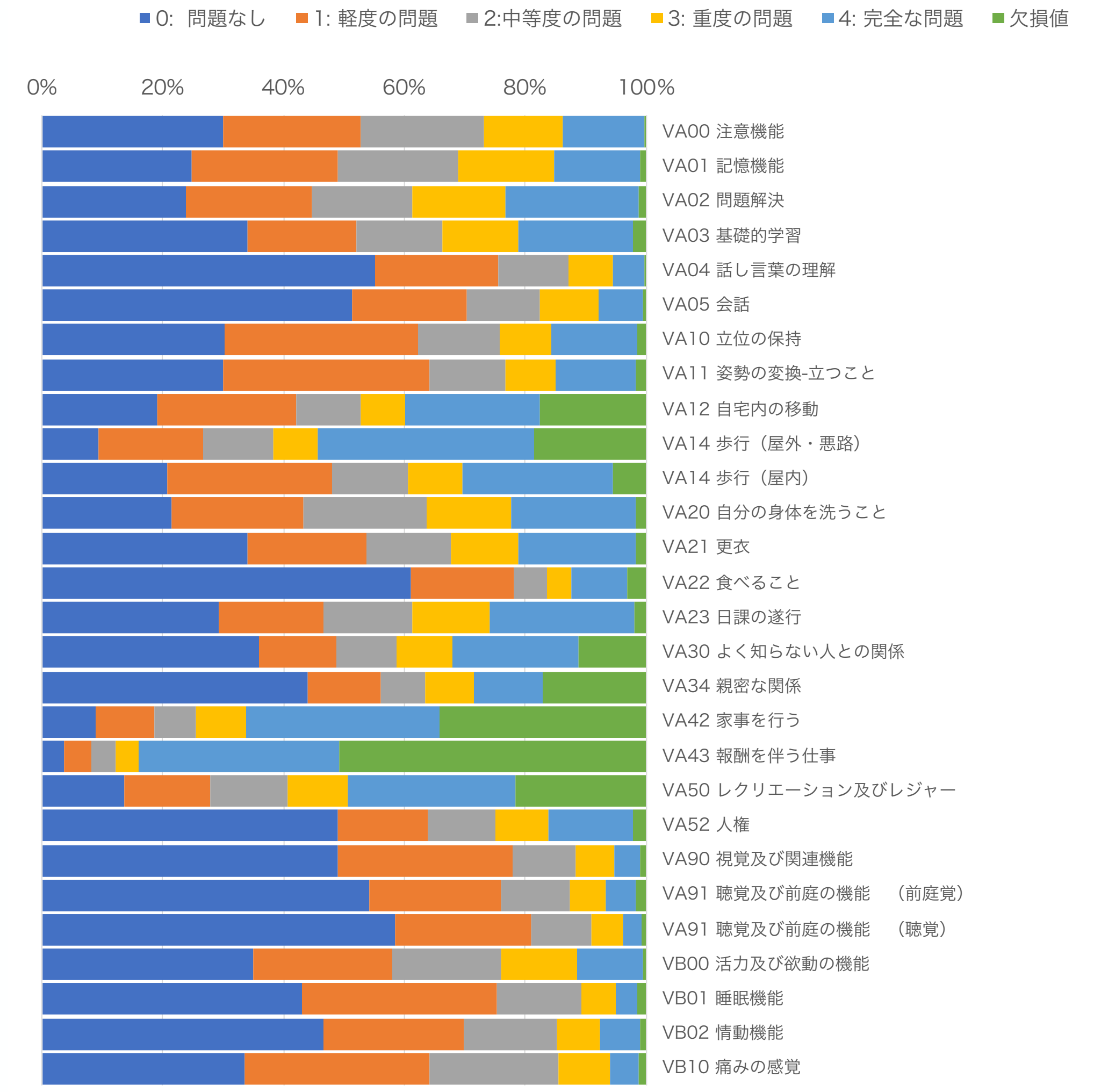


<参考>主観的な評価と客観的な評価

WHODAS2.0, MDSによる 主観的な患者評価



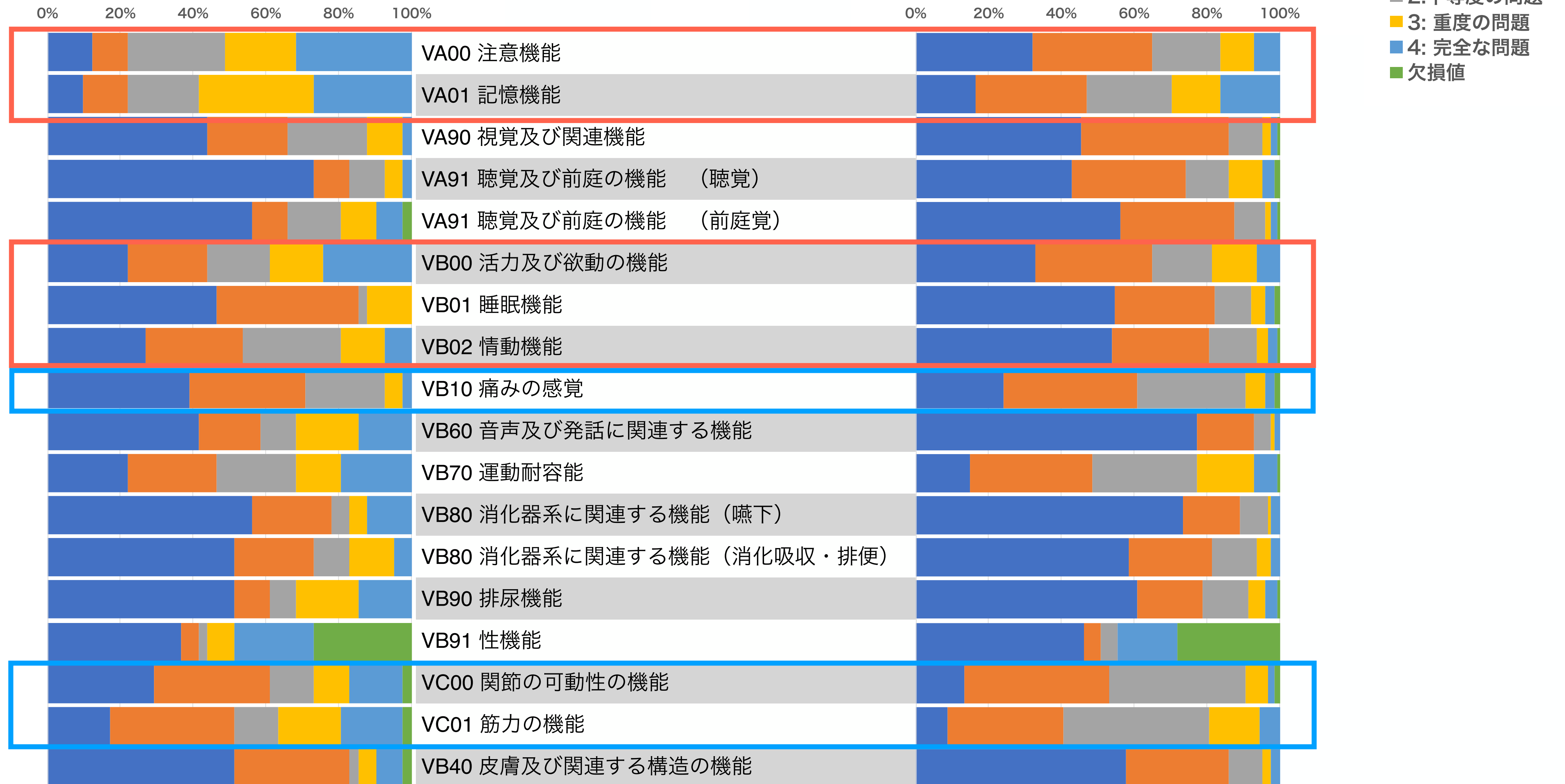
ICD-11V章一般的機能の構成要素による 客観的な医療者評価



<参考> 疾患による生活機能プロファイルの違い: 心身機能

くも膜下出血

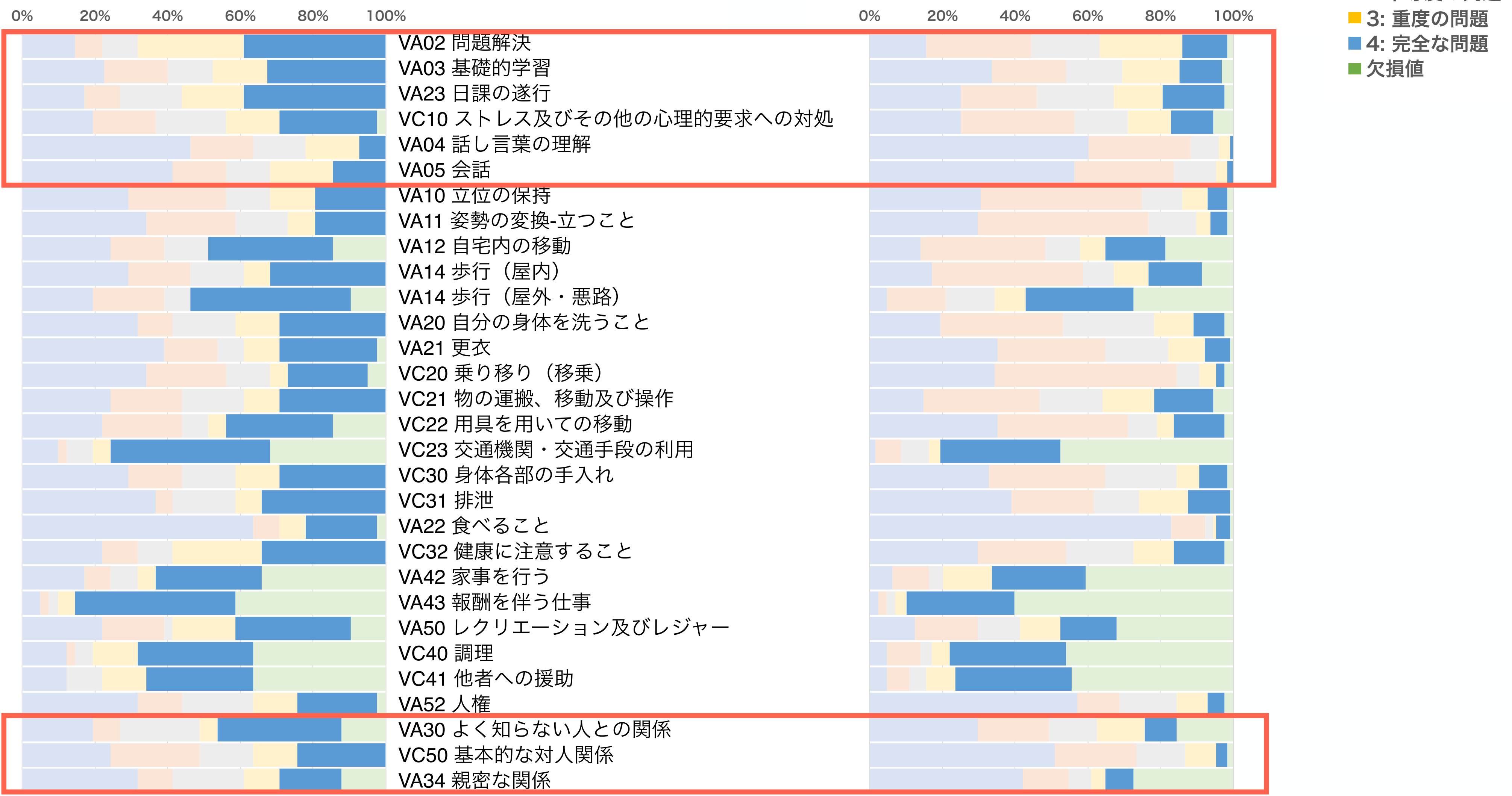
大腿骨頸部骨折



<参考> 疾患による生活機能プロファイルの違い：活動と参加

くも膜下出血

大腿骨頸部骨折



既存の評価スケールとの項目対応ルールの作成

既存の評価スケールとの情報の互換性のある仕組みの構築に向けて

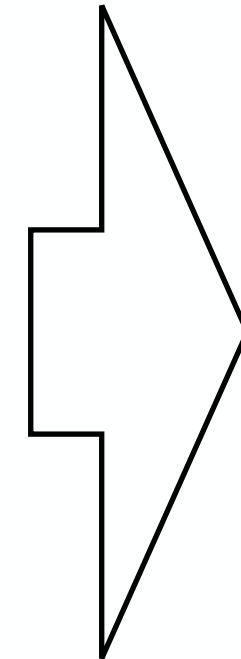
- 既存のスケールをICFの項目に紐付けするための Linking ruleが作成されているが (Cieza et al, 2002)、内容は基本的な原則にとどまっている

- 情報の互換性のため、既存のスケールがどの項目に対応するか決めるための具体的なルール案と実例を作成 (別添11,12)

→ リコード (点数換算) の手法の開発へ

例)

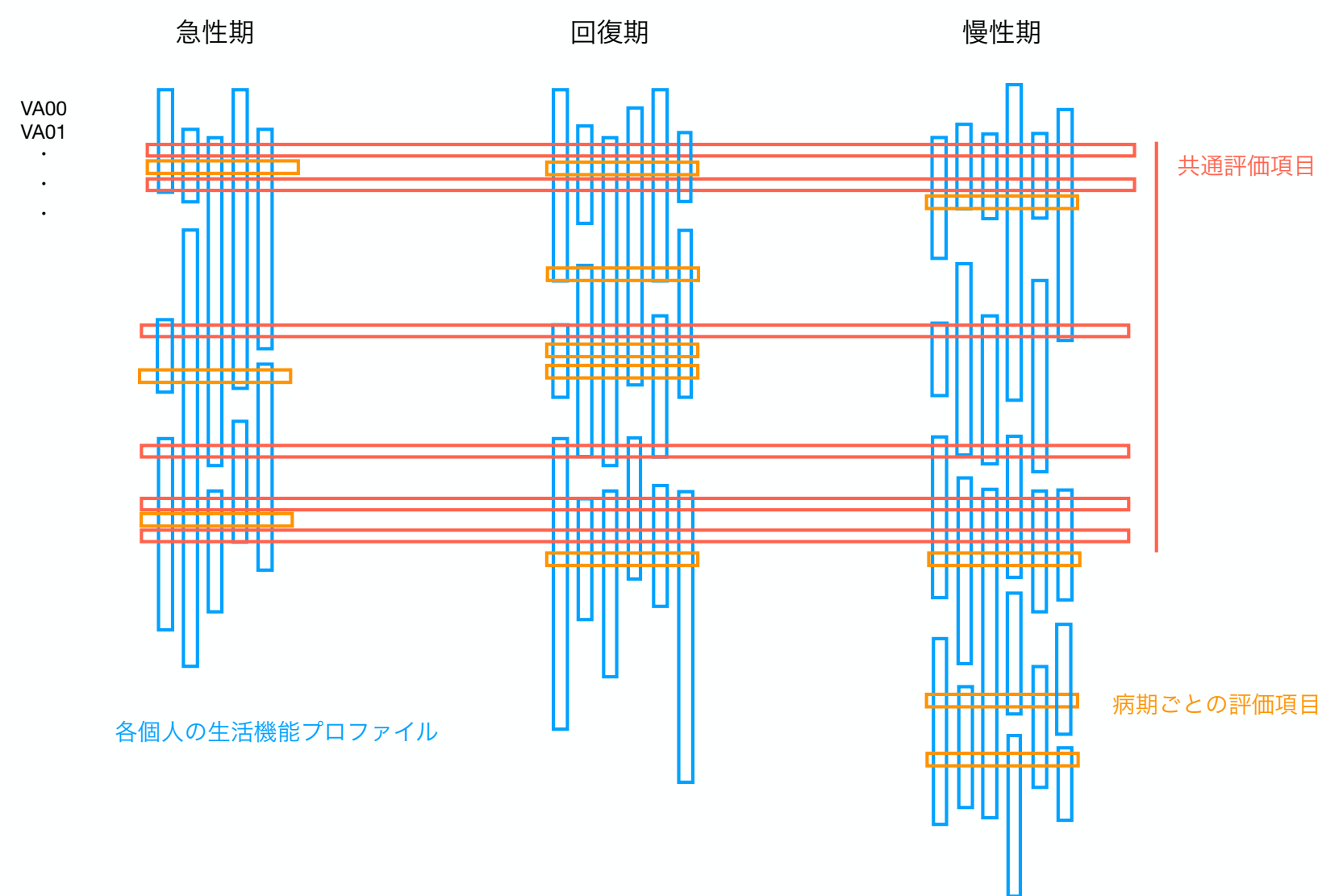
1. 測定値をICFの項目に紐付けする前に、ICFの概念と分類学的な基礎、および定義を含めた詳細な分類の章、領域、項目について、十分な知識を身につけておかなければならない。
2. 健康状態の指標の各項目は、最も正確なICFの項目に紐付けされていなければならない。
3. 1つの項目が異なる構成要素を含む場合、各構成要素の情報がリンクされている必要がある。
 - ・
 - ・
 - ・



FIM	ICF		ICD-11第V章	
食事	d550	食べること	VA22	食べること
	d560	飲むこと		
整容 清拭	d520	身体各部の手入れ	VC30	身体各部の手入れ
	d510	自分の身体を洗うこと	VA20	自分の身体を洗うこと
更衣 (上半身) 更衣 (下半身)	d540	更衣	VA21	更衣
トイレ	d530	排泄	VC31	排泄
排尿コントロール	b620	排尿機能	VB90	排尿機能
排尿コントロール	b530	排便機能	VB80	消化器系に関連する機能
ベッド、椅子、 車椅子 トイレ 浴槽、シャワー	d420	乗り移り (移乗)	VC20	乗り移り (移乗)
歩行、車椅子	d450	歩行	VA14	歩行
	d465	用具を用いての移動	VC22	用具を用いての移動
階段	d451	階段の上り下り		対応項目なし
理解	d310	話し言葉の理解	VA04	話し言葉の理解
	d315	非言語メッセージの理解		
表出	d330	話すこと	VA05	会話
	d335	非言語メッセージの表出		
社会的交流	d710	基本的な対人関係	VC50	基本的な対人関係
問題解決	d175	問題解決	VA02	問題解決
記憶	b144	記憶機能	VA01	記憶機能

今後の方向性

実用的な評価セットの開発



教育ツールの開発と教育環境の構築



既存の評価スケールとの互換的な仕組み

Toileting	必要な環境因子		
	FIM	ICF	建物構造 道具類 (装具など) 人のサポート
手すりを使用し、大部分を介助下で行っている	2	3	e155 ✓ e115/e120 ✓ e3 ✓
手すりと装具を使用して一部介助下で行っている	3	2	✓ ✓ ✓
手すりと装具を使用して見守りで行っている	5	1	✓ ✓ ✓
装具のみを使用して自立して行っている	6	1	✓
環境によらず実施できるが、非常に時間がかかる	7	1	
問題なく実施できる	7	0	

ICD-11と組み合わせた疾病統計への応用方法の検討

